

令和8年度 国語科「 言語文化 」シラバス

単位数	2単位	学科・学年・学級	普通科 2年 5組
教科書	高等学校精選言語文化(第一学習社)	副教材等	最新国語便覧(浜島書店) 完全マスター古典文法(第一学習社) イラストとシーンでおぼえるL1000古文単語337(啓隆社) できた！中1国語(くもん出版)

1 学習の到達目標

<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。</p> <p>(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>
--

2 学習の計画

月	育成する資質・能力	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価材料
4	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	古文の学習	・古文を学習する意義を知り、今後の学習に生かそう。	・我が国の言語文化についての理解を深めるために古典の世界に親しむことの意義を知る。 ・我が国の言語文化に興味・関心を深め、それを継承していくことについて強く自覚をもとうとしている。	行動の観察 記述の確認 定期考査
5	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	羅生門(芥川龍之介)	・近代の代表的な小説を読み、基本的な読解方法を習得しよう。 中間考査	・下人の行動や心理をもとに場面の展開を捉え、老婆の語る論理が下人の決断に与えた影響を読み取る。 ・小説という文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などを的確に捉える。	行動の観察 記述の確認 定期考査
6 7	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	児のそら寝 古文を読むために1 漢文に親しむ 故事成語 「蛇足」	・古文に親しみをもち、話のおもしろさを理解しよう。 ・漢文を学習する意義を知り、今後の学習に生かそう。 期末考査	・古典の文章に慣れるとともに、現代に通じる話のおもしろさや人間描写の巧みさを知る。 ・主として歴史的仮名遣いや古今異義語について、文語のきまりを理解する。 ・漢文を訓読するための基礎知識として、返り点の種類と使い方、助字のはたらき意味再読文字の種類と読み方を習得する。	行動の観察 記述の確認 定期考査 行動の観察 記述の確認 定期考査
9 10	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	なよ竹のかぐや姫 故事成語 「狐借虎威」	・古文に親しみ、話の構成や展開を把握しよう。 ・漢文訓読の基本事項を確認し、故事成語に関心を持つよう。 中間考査	・用言の活用について理解し、学習の見直しをもって活用形を調べようとしている。 ・古典特有の世界観に慣れるとともに、千年以上前に作られた物語が現代まで継承されていることを知る。 ・故事成語の由来となった話を読み、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解する。	行動の観察 記述の確認 定期考査 行動の観察 記述の確認 定期考査

11	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	伊勢物語	・歌物語の特徴と読み解き方を理解しよう。	・歌物語では感動の中心が歌にあることを理解し、内容や展開を的確に捉える。 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。	行動の観察 記述の確認 定期考査
12	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	短歌「ゆびさきの温かみを」	・短歌の鑑賞のしかたを理解し、近代を代表する人の作品を味わおう。 期末考査	・我が国の言語文化に特徴的な、短歌の表現の技法とその効果について理解する。 ・短歌の形式や表現を進んで理解し、学習の見通しをもって短歌文芸に親しむ。	行動の観察 記述の確認 定期考査
1	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	徒然草	・古文の随筆を読み、人間・社会などに対する作者の考え方を読み取るう。	・文章の内容を構成や展開に即して的確に捉える。 ・助動詞について理解し、口語訳に生かす。	行動の観察 記述の確認 定期考査
2	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	十八史略「完璧」	・史伝という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 期末考査	・史伝の舞台となる時代背景を知るとともに、作中に描かれた蘭相如の考えや人物像を読み取る。	行動の観察 記述の確認 定期考査
3					

3 評価の観点

知識・技能	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。
思考・判断・表現	【話す・聞く能力】 目的や場面に応じて、的確に話を聞き取ったり、自分の考えを深め、発展させている。 【書く能力】 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。 【読む能力】 現代文・古文・漢文の文章を、的確に読み取ったり、目的に応じて深く読んだりして、自分の考えを発展させている。
主体的に学習に取り組む態度	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。

4 評価の方法

知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度の3観点から評価規準に従い、総合的に評価する。

5 担当者からのメッセージ (確かな学力を身に付けるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守ってほしい事項など)

高等学校の「国語」の基本的な知識を身につける科目です。作品や課題に積極的かつ主体的に取り組み、自己の能力の可能性を見出してください。そして、実践的な表現活動ができるよう幅広い知識を身につけましょう。

令和8年度 国語科「文学国語」シラバス

単位数	3単位	学科・学年・学級	普通科・2年・1～7組 国際人文科・2年・8組
教科書	文学国語（東京書籍）	副教材等	最新国語便覧(浜島書店) 漢字ボックス(浜島書店)

1 学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語での確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

2 学習の計画

月	育成する資質・能力	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価材料
4 5	近代以降の文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させる。 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	山月記 永訣の朝	登場人物の心情を表現に即して把握し、主人公の内面と苦悩について考える。 表現された内容を読み取り、描かれた行動や言葉から「わたくし」の妹に対する思いを解釈する。 中間考査	李徴が虎になった理由についてどう分析しているかを押さえ、主題に迫る。 語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈している。	行動の観察 記述の確認 定期考査 行動の観察 記述の確認 定期考査
6 7	物語の展開や状況の変化に注意して小説を読み、現代の社会や自らの生活を捉え直す。 小説を読み、そこに込められた寓意や描かれた人々の姿から生きることへの考えを深める。	鞆 山椒魚	小説の設定や登場人物の変化に注目し、小説を読む楽しみを味わわせる。 人間や物事の本質に迫る小説を読み、登場人物の言動や生き方を受け止める。 期末考査	鞆の象徴するものを手がかりに、作品の主題について考える。 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。	行動の観察 記述の確認 定期考査 行動の観察 記述の確認 定期考査
9	近代以降の文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させる。	こころ	人物の関係性と心情を的確に捉え、人の心のありようについて考えを深める。	文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察している。	行動の観察 記述の確認 定期考査

10				中間考査	
11 12	近代以降の文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させる。	こころ	人物の関係性と心情を的確に捉え、人の心のありようについて考えを深める。	文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察している。	行動の観察 記述の確認 定期考査
1 2 3	近代以降の文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させる。	舞姫	構成や時代背景に注意しながら主人公の葛藤を読み取り、人生の選択について考える。	語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈している。	行動の観察 記述の確認 定期考査
				期末考査	

3 評価の観点

知識・技能	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。
思考・判断・表現	<p>【話す・聞く能力】 授業中の意見交換や発表の機会に積極的に取り組み、他者との関わりの中で伝え合う力を高めている。</p> <p>【書く能力】 作品の主題や登場人物の心情、場面の意味などについて、自分なりの解釈や感想が書けている。</p> <p>【読む能力】 深く共感したり豊かに創造したりする力を伸ばすために、登場人物の心情を深く読み取ろうとしている。</p>
主体的に学習に取り組む態度	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。

4 評価の方法

知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度の3観点から評価規準に従い、総合的に評価する。

5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身に付けるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守ってほしい事項など）

様々な文章を通して言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を養っていきましょう。

令和8年度 国語科「古典基礎」シラバス

単位数	2単位	学科・学年・学級	普通科 2年次 1～7組
教科書	高等学校 精選言語文化(第一学習社)	副教材等	最新国語便覧(浜島書店) 完全マスター古典文法(第一学習社) イラストとシーンでおぼえるLOOK@古文単語337 (啓隆社)

1 学習の到達目標

高等学校の国語教育における基本的な知識を理解するとともに、国語を適切に表現し、意見を伝える力を養う。現代の文章や古典作品に触れ、それらを鑑賞する姿勢を養うとともに、主体的な学習の取り組み方を学ぶ。

2 学習の計画

月	育成する資質能力	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価材料
4	随筆という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているもの見方や考え方について根拠をもって説明する能力を養う。	徒然草 「ある人、弓射ることを習ふに」	・古文の随筆を読み、人間・社会などに対する作者の考え方を読み取る。	・文章の内容を構成や展開に即して的確に捉える。 ・助動詞について理解し、口語訳に生かす。	行動の観察 記述の確認 定期考査
5	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	唐詩の世界漢詩のきまり	・表現や技法(押韻や対句)に留意して漢詩を鑑賞し、古代中国の人々が自然や人事に向けた思いを読み取る。	・粘り強く漢詩を読み比べ、よまれた情景や心情を説明する。	行動の観察 記述の確認 定期考査
6	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	伊勢物語「筒井筒」	・話の中で和歌が果たしている役割を押さえ、歌物語の特徴と読み解き方を理解する。	・歌物語では感動の中心が歌にあることを理解し、内容や展開を的確に捉える。 ・歌物語に積極的に親しみ、学習課題に沿って和歌の果たす意味を捉える。	行動の観察 記述の確認 定期考査
7	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	故事成語 「狐借虎威」	・漢文訓読の基本事項を確認し、故事成語を読み解く。	・故事成語の由来となった話を読み、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解する。	行動の観察 記述の確認 定期考査
9	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	土佐日記 「門出」	・わが国最初の日記文学を読んで、記録としての日記とは異なる表現方法と執筆意図を読み解く。	・虚構性の高い日記を読み、執筆意図などについて積極的に批評したり討論したりする。	行動の観察 記述の確認 定期考査
10	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	史伝「先従隗始」	・戦国時代を背景とした国の状況を知るとともに、郭隗が用いた論理の巧みさを読み解く。	・史伝という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 ・「先従隗始」の由来と現代の意味の違いを知り、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解する。	行動の観察 記述の確認 定期考査

11	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	枕草子 「長月ばかり」	・随筆を読んで、当時の人々の生活感覚や興味の対象を知り、もの見方・考え方を理解する。	・自由な文体の随筆という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 ・作品に表れたもの見方・考え方や美意識を積極的に理解し、学習課題に沿って自分の考えを伝え合う。	行動の観察 記述の確認 定期考査
12			期末考査		
1	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	枕草子 「中納言参りたまひて」	・随筆を読んで、当時の人々の生活感覚や興味の対象を知り、もの見方・考え方を理解する。	・自由な文体の随筆という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 ・作品に表れたもの見方・考え方や美意識を積極的に理解し、学習課題に沿って自分の考えを伝え合う。	行動の観察 記述の確認 定期考査
2					
3			期末考査		

3 評価の観点

知識・技能	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。
思考・判断・表現	【読む能力】 古文・漢文の文章を、的確に読み取ったり、目的に応じて深く読んだりして、自分の考えを発展させている。
主体的に学習に取り組む態度	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、もの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。

4 評価の方法

知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度の3観点から評価規準に従い、総合的に評価する。

5 担当者からのメッセージ (確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など)

「古典基礎」では古典に特化して、広く、さまざまな作品を読んでいます。まずは読解に必要な基礎事項(語句の意味・文法・古典常識など)を定着させ、自分で古典を読み味わう力をつけていきましょう。その上で、古典をただの読み物として捉えるのではなく、現代と結び付けながら何かを学びとっていく姿勢で臨むと古典がより面白く感じるようになると思います。

単位数	3単位	学科・学年・学級	2年1～8組
教科書	明解 歴史総合 (帝国書院)	副教材等	明解 歴史総合図説 シンフォニア (帝国書院)

1 学習の到達目標

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

2 学習の計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4	1部 歴史の扉 1章 歴史と私たち 2章 歴史の特質と資料	お茶からみる日本と世界の歴史 史料を取り扱ってみよう 歴史叙述とは何か考えてみよう	・私たちの身近にあるものには、どのような歴史や世界との結び付きがあるのだろうか。 ・私たちは過去の状況をどのようにして知り、伝えてきたのだろうか。	①身の回りの事象と世界の歴史が結び付いていることを理解している。 ②身の回りの事象と世界の歴史との結び付きについて考察し、表現している。
		2部 近代化と私たち 1章 江戸時代の日本と結びつく世界	①アジアのなかの江戸幕府 ②成熟する江戸社会 ③清の繁栄と結び付く東アジア ④アジア・アメリカに向かうヨーロッパ	・江戸時代の日本と世界国々との結び付き ・18世紀清をとりまく国際関係 ・17～18世紀のアジア・アメリカにおける貿易の展開	①18世紀のアジア各地域間やアジア諸国と欧米諸国の貿易と、日本への影響について、資料を読み取り、理解している。 ②「大航海時代」から「世界の一体化」へ至る交易の意義と地域の変容について考察し、みずからの言葉で表現している。 ③18世紀の世界交易が、現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。
	5	2章 欧米諸国における近代化	①イギリスの革命とアメリカの独立 ②フランス革命～ヨーロッパ近代の幕開け ③フランス革命の影響と国民意識の芽生え ④産業革命で変わる社会 ⑤イギリスの繁栄と国際分業体制	・イギリス革命・アメリカ独立戦争後の政治体制 ・フランス革命による政治・社会の変化のあり方 ・近代社会の形成における産業革命の役割	
		6	3章 近代化の進展と国民国家形成	①1848年～近代ヨーロッパの転換点 ②イタリア・ドイツの統一とロシアの近代化 ③アメリカの拡大と第2次産業革命 ④帝国主義と世界の一体化	・1848年後のヨーロッパ社会の変化 ・イタリア・ドイツ・ロシアの近代国家形成の展開 ・アメリカ合衆国の国内統一と工業化
	7	4章 アジア諸国の動揺と日本の開国	①「西洋の衝撃」と西アジアの変化 ②南・東南アジアの植民地化 ③ヨーロッパの日本接近とアヘン戦 ④黒船の来航と日本の対応 ⑤新体制の模索と江戸幕府の滅亡	・19世紀のイスラーム諸国とヨーロッパ諸国の関係 ・ヨーロッパ植民地によるアジアでの植民地形成 ・幕末期の日本と欧米諸国との関係	
		5章 近代化がすすむ日本と東アジア	①新政府の誕生 ②近代国家を目指す日本 ③日本と清の近代化と日清戦争 ④列強の中国進出と日露戦争 ⑤日露戦争が与えた影響	・明治維新期の政治・社会の変化 ・近代化の進展による日本・清・朝鮮それぞれの国際関係の変化 ・日露戦争が国際社会に与えた影響	
7		中間考査	期末考査		
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第2学期	9	3部 国際秩序の変化や大衆化と私たち 1章 第一次世界大戦と日本の対応	①ドイツの挑戦とバルカン半島の緊張 ②総力戦となった第一次世界大戦 ③ロシア革命と大戦の終結	・ドイツ・ロシアの対外政策の変更とその影響 ・第一次世界大戦における国や人の関わり ・ロシアにおける社会主義政権の誕生過程	①国際関係の視点を軸に、第一次世界大戦勃発から終戦までの経緯と、参戦各国の社会の変化について、資料を読み取り、理解している。 ②第一次世界大戦の総力戦体制下において、列強の戦闘員や非戦闘員・植民地の人々がそれぞれどのような目的で戦争に協力したのかについて考察し、みずからの言葉で表現している。 ③勢力均衡に基づく国際秩序と大衆の戦争参加が、現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。
		2章 国際協調と大衆社会の広がり	①ヴェルサイユ体制の成立 ②東アジアの民族自決の行方 ③中東・インドの民族自決の影響 ④ヨーロッパの復興と大衆の政治参加 ⑤大衆社会の出現とアメリカの繁栄 ⑥日本における大衆社会の形成	・第一次世界大戦後の国際秩序の形成 ・欧米における大衆社会のあり方 ・日本の大衆社会の形成	
			中間考査		

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第2学期	11	3章 近代化の進展と国民国家形成	①世界恐慌が与えた影響 ②ファシズムの台頭と拡大 ③政党政治の断絶と満洲事変 ④日中戦争の始まり ⑤第二次世界大戦の展開 ⑥戦局の悪化と被害の拡大 ⑦第二次世界大戦の終結とその惨禍	・世界恐慌の国際協調体制に与えた影響 ・日本の満洲進出とその後の日中関係 ・第二次世界大戦の進展	①世界恐慌から第二次世界大戦の終戦に至るまでの経緯について、大衆とマスメディアの関わりに着目しながら、資料を読み取り、理解している。 ②ファシズム体制の形成から終戦に至るまで、大衆がなぜ戦争に協力していったのか考察し、みずからの言葉で表現している。 ③世界恐慌後の各国の政治的判断と、大衆の戦争協力が、現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。
	12	4章 アジア諸国の動揺と日本の開国	①戦後の新たな国際秩序 ②冷戦の始まり ③日本撤退後の東アジア ④日本の改革と独立の回復 期末考査	・第二次世界大戦後の国際体制の形成 ・米ソ対立とヨーロッパの東西分裂 ・占領下の日本と独立回復の過程したのだろうか。	
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第3学期	1	4部 グローバル化と私たち 1章 冷戦で揺れる世界と日本	①アメリカ・ソ連の緊張と緩和 ②冷戦下における日本の復興 ③第三勢力の形成と脱植民地化 ④中東戦争とパレスチナ問題	・米ソの緊張と緩和が国際社会に与えた影響 ・日本の高度経済成長を支えた国内外の要因 ・冷戦激化とアジア・アフリカの脱植民地化の展開	①冷戦終結の過程とグローバル化の特質について、資料を読み取り、理解している。 ②グローバル化の進展や地域統合、ナショナリズムの強化について各地域を比較して考察し、その特質や問題点をみずからの言葉で表現している。 ③冷戦の終結とグローバル化の進展が、現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。
	2	2章 多極化する世界	①揺らぐアメリカと先進各国の変化 ②「経済大国」日本の模索 ③経済発展に取り組むアジア・南米諸国 ④イスラーム復興と冷戦への影響	・1960～70年代のアメリカが抱えた問題と国際社会 ・1970～80年代の日本が抱えた国内外の問題 ・イラン＝イスラーム革命が世界に与えた影響	
	3	3章 グローバル化のなかの世界と日本	①冷戦の終結と変わる世界構造 ②冷戦の終結が与えた世界への影響 ③超大国アメリカと中東情勢 ④国際環境の変化と日本 ⑤グローバル化による国際社会の変容 学年末考	・冷戦体制の終結と世界構造の変化 ・アメリカと中東情勢の関係 ・グローバル化の進展による国際社会の変化	

3 評価の観点

知識・技能	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
思考・判断・表現	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
主体的に学習に取り組む態度	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵かん養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

4 評価の方法

知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度の3観点から評価規準に従い、総合的に評価する。

5 担当者からのメッセージ (確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など)

歴史を遠い過去の出来事としてとらえるのではなく、「今」私たちが生きている社会と関連することとしてとらえてください。歴史を学ぶことで「今」の私たちのあり方がみえてきます。また、「今」世界で起きていること、問題となっていることに目を向けてください。現在の社会の諸問題と歴史総合で学ぶことがつながるはずです。

令和8年度 数学科 「数学Ⅱ」 シラバス

単位数	4単位	学科・学年・学級	普通科 2年1～7組
教科書	高等学校 数学Ⅱ (数研出版)	副教材等	4プロセス 数学Ⅱ (数研出版)

1 学習の到達目標

いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについて理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。

2 学習の計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
1 学期	4	第1章 式と証明 1節 式と計算	1. 3次式の展開と因数分解 2. 二項定理 3. 多項式の割り算 4. 分数式とその計算 5. 恒等式	多項式の乗法・除法及び分数式の四則計算について理解できるようにする。	定期考査 授業での行動観察 授業ノート 問題集ノート 課題プリント 小テスト など
	5	2節 等式・不等式の証明 第2章 複素数と方程式 1節 複素数と2次方程式の解	6 等式の証明 7 不等式の証明 1. 複素数とその計算 2. 2次方程式の解 3. 解と係数の関係	数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことを証明できるようにする。 方程式についての理解を深め、数の範囲を複素数まで拡張して2次方程式を解くことができるようにする。	
	6	2節 高次方程式	4. 剰余の定理と因数定理 5. 高次方程式	剰余の定理や因数分解を利用して高次方程式を解くことができるようにする。	
	7	第3章 図形と方程式 1節 点と直線 2節 円 3節 軌跡と領域	1. 直線上の点 2. 平面上の点 3. 直線の方程式 4. 2直線の関係 5. 円の方程式 6. 円と直線 7. 2つの円 8. 軌跡と方程式 9. 不等式の表す領域	座標や式を用いて、直線の性質や関係を数学的に表現し、その有用性を認識するとともに、事象の考察に活用できるようにする。 座標や式を用いて、円の性質や関係を数学的に表現し、その有用性を認識するとともに、事象の考察に活用できるようにする。 図形を、与えられた条件を満たす点の集合として認識するとともに、不等式を満たす点の集合が座標平面上の領域を表すことを理解し、それらを事象の考察に活用できるようにする。	
			中間考査	期末考査	
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
2 学期	9	第4章 三角関数 1節 三角関数	1. 角の拡張 2. 三角関数 3. 三角関数のグラフ 4. 三角関数の性質 5. 三角関数の応用	角の概念を一般角まで拡張して、三角関数に関する様々な性質や式とグラフの関係について多面的に考察できるようにする。	定期考査 授業での行動観察 授業ノート 問題集ノート 課題プリント 小テスト など
	10	2節 加法定理	6. 加法定理 7. 加法定理の応用	加法定理を理解し、それらを事象の考察に活用できるようにする。	
	11	第5章 指数関数と対数関数 1節 指数関数	1. 指数の拡張 2. 指数関数	指数関数について理解し、それらを事象の考察に活用できるようにする。	
	12	2節 対数関数	3. 対数とその性質 4. 対数関数 5. 常用対数	対数関数について理解し、それらを事象の考察に活用できるようにする。	
			中間考査	期末考査	

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
3 学期	1	第6章 微分法と積分法 1節 微分係数と導関数	1. 微分係数 2. 導関数とその計算 3. 接線の方程式	微分係数や導関数の意味について理解し、それらの有用性を認識するとともに、事象の考察に活用できるようにする。	定期考査 授業での行動観察 授業ノート 問題集ノート 課題プリント 小テスト など
	2	2節 関数の値の変化	4. 関数の増減と極大・極小 5. 関数の増減・グラフの応用	導関数の理解を深めるとともに、導関数の有用性を認識できるようにする。	
	3	3節 積分法	6. 不定積分 7. 定積分 8. 定積分と面積	積分の考えについて理解し、それらの有用性を認識するとともに、事象の考察に活用できるようにする。	
			学年末考査		

3 評価の観点

知識・技能	いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
思考・判断・表現	数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力、座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり、図形の性質を論理的に考察したりする力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力、関数の局所的な変化に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。
主体的に学習に取り組む態度	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

4 評価の方法

<p>知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度の3観点から評価規準に従い、総合的に評価する。</p> <p>評価の中心は、定期考査の点数（素点）になります。しっかり定期考査前はテスト範囲の勉強に取り組み1点でも高い点数を取るよう to してください。</p> <p>その他各教科担当者から定期考査毎に提出物の指示があります。プリントやワークなど、提出指示があったものは必ず忘れずに提出するようにしてください。</p>
--

5 担当者からのメッセージ (確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など)

<p>習熟状況や進度状況により、学習時期が前後する場合があります。発展的な関連する内容を取り扱うこともある。</p> <p>授業に必要なもの</p> <p>1. 教科書 2. 授業用ノート 3. 4プロセス数学II+B問題集(解答) 4. 問題集用ノート 5. 筆記用具</p> <p>※教科担当者によって授業用ノートの代わりにプリントを活用する先生もいるため、その場合は、各自紙ファイルの購入をしてください。</p> <p>中学校時代に数学が苦手だった人も丁寧に一から学び直せばすぐに得意教科になります。難易度の高い問題にはセンスが必要なものもありますが、多くの問題はセンスよりも反復が必要です。繰り返し問題を解き、全員数学が得意と呼べるようになりましょう！</p>
--

令和8年度 数学科 「数学B」 シラバス

単位数	2単位	学科・学年・学級	普通科 2年1組～7組
教科書	高等学校 数学B (数研出版)	副教材等	4プロセス 数学B (数研出版)

1 学習の到達目標

数列、統計的な推測について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、数学と社会生活の関わりについて認識を深め、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。

2 学習の計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
1 学期	4	1章 数列 1節 等差数列と等比数列	1. 数列と一般項 2. 等差数列 3. 等差数列の和 4. 等比数列 5. 等比数列の和	数列やその一般項の表し方について理解する。また、基本的な数列として等差数列と等比数列を理解し、それらの和を求められるようにする。また、これらの数列を様々な事象の考察に役立てようとする姿勢を養う。	定期考査 授業での行動観察 授業ノート 問題集ノート 課題プリント 小テスト など
	5	2節 いろいろな数列	6. 和の記号 Σ 7. 階差数列	和の記号 Σ の表し方や性質を理解し、活用できるようにする。また、いろいろな数列について、その一般項や和を求めたり、和から一般項を求めたりできるようにする。	
	6 7	3節 漸化式と数学的帰納法	8. いろいろな数列の和 9. 漸化式 10. 数学的帰納法	数列の帰納的な定義について理解し、漸化式から一般項が求められるようにするとともに、複雑な漸化式を既知のものに帰着して考えられるようにする。また、数学的帰納法の仕組みを理解し、様々な命題の証明に活用できるようにする。	
			中間考査 期末考査		
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
2 学期	9	2章 統計的な推測 1節 確率分布	1. 確率変数と確率分布 2. 確率変数の期待値と分散 3. 確率変数の和と積 4. 二項分布	確率変数と確率分布について理解し、期待値や分散、標準偏差などを求めることを通じて、分布の特徴を把握できるようにする。また、連続型確率変数についても理解し、正規分布を様々な日常の事象の考察に活用できるようにする。	定期考査 授業での行動観察 授業ノート 問題集ノート 課題プリント 小テスト など
	10		中間考査		
	11	2節 統計的な推測	5. 正規分布 6. 母集団と標本 7. 標本平均と分布 8. 推定 9. 仮説検定	母集団と標本、標本平均について理解し、特に標本平均については、それが確率変数であることを正しく理解した上で考察できるようにする。また、母平均や母比率の推定、正規分布を用いた仮説検定ができるようにし、それらを日常の事象の考察や様々な判断に積極的に活用しようとする態度を育てる。	
	12		期末考査		

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
3 学期	1	3章 数学と社会生活	1. 数学を活用した問題解決	社会生活などにおける問題を、数学を活用して解決する意義について理解するとともに、日常の事象や社会の事象などを数学化し、数理的に問題を解決する方法を知り、積極的に数学を活用する姿勢を培う。	定期考査 授業での行動観察 授業ノート 問題集ノート 課題プリント 小テスト など
	2		2. 社会の中にある数学		
	3		3. 変化をとらえる ～移動平均～ 4. 変化をとらえる ～回帰分析～ 学年末考査		

3 評価の観点

知識・技能	数列、統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と社会生活の関わりについて認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
思考・判断・表現	離散的な変化の規則性に着目し、事象を数学的に表現し考察する力、確率分布や標本分布の性質に着目し、母集団の傾向を推測し判断したり、標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力、日常の事象や社会の事象を数学化し、問題を解決したり、解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を養う。
主体的に学習に取り組む態度	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

4 評価の方法

<p>知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度の3観点から評価規準に従い、総合的に評価する。</p> <p>評価の中心は、定期考査の点数（素点）になります。昨年と同様、定期考査の点数を3観点に沿って点数を割り振ります。教科書の問題だけでなく、発展問題・応用例題等幅広くテスト範囲の勉強に取り組み1点でも高い点数を取るようになしてください。</p> <p>その他各教科担当者から定期考査毎に提出物の指示があります。プリントやワークなど、提出指示があったものは必ず忘れずに提出するようにしてください。何かあったときの・・・。</p>
--

5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など）

<p>授業に必要なもの</p> <p>1. 教科書 2. 授業用ノート 3. 4プロセス数学Ⅱ+B問題集（解答） 4. 問題集用ノート 5. 筆記用具</p> <p>※教科担当者によって授業用ノートの代わりにプリントを活用する先生もいますので、その場合は、各自紙ファイルの購入をしてください。</p> <p>中学校時代に数学が苦手だった人も丁寧に一から学び直せばすぐに得意教科になります。難易度の高い問題にはセンスが必要なものもありますが、多くの問題はセンスよりも反復が必要です。繰り返し問題を解き、全員数学が得意と呼べるようになりましょう！</p>

令和8年度 数学「表現数学」シラバス

単位数	2 単位	学科・学年・学級	普通科 2年選択者
教科書	NEXT 数学 I (数研出版) NEXT 数学 A (数研出版)	副教材等	数研出版「CONNECT数学 I + A」 教科担当者作成プリント

1 学習の到達目標

数と式、図形と計量、二次関数およびデータの分析、場合の数と確率、図形の性質について理解し、自ら課題を発見し解決する力、他者に説明する力、事象を数学的に考察する能力を培い、それらを活用する態度を育てる。

2 学習の計画

月	単元名	学習内容や学習活動	評価の材料等
4 5 6 7	数学 I ・数と式 ・2次関数 ・2次関数とそのグラフ ・2次方程式と2次不等式 数学 A ・場合の数と確率 ・いろいろな確率 入試レベル問題演習	○以下の学習活動を通して、数学 I、数学 A で学習した内容の発展した問題を解く。 ・個人で解く ・他者に自分の解法を説明する。 ・自分の解法を全体に発表する。 ○数学の過去問や赤本、既習事項を利用して問題を作成し、模範解答を作成する。 ○大学入試等の発展的な内容に取り組む。	発表 授業での行動観察 授業ノート 問題集ノート 課題プリント 小テスト など
8 9 10 11 12	数学 I ・鋭角の三角比 ・三角比の拡張 ・三角形への応用 数学 A ・三角形と比 ・円の性質 入試レベル問題作成・演習 数学 I ・命題と論証 ・データの整理と分析 ・データの相関 数学 A ・整数の性質 入試レベル問題作成・演習	○以下の学習活動を通して、数学 I、数学 A で学習した内容の発展した問題を解く。 ・個人で解く ・他者に自分の解法を説明する。 ・自分の解法を全体に発表する。 ○数学の過去問や赤本、既習事項を利用して問題を作成し、模範解答を作成する。 ○大学入試等の発展的な内容に取り組む。 ○以下の学習活動を通して、数学 I、数学 A で学習した内容の発展した問題を解く。 ・個人で解く ・他者に自分の解法を説明する。 ・自分の解法を全体に発表する。 ○数学の過去問や赤本、既習事項を利用して問題を作成し、模範解答を作成する。 ○大学入試等の発展的な内容に取り組む。	発表 授業での行動観察 授業ノート 問題集ノート 課題プリント 小テスト など
1 2 3	入試レベル問題演習	○大学入試等の発展的な内容に取り組む。	

3 評価の観点

知識・技能	数と式、集合と論証、2次関数、図形と計量、データの分析及び場合の数と確率における基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、基礎的な知識を身に付けている。 数と式、図形と計量、2次関数及びデータの分析及び場合の数と確率において、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。
思考力・判断力・表現力	事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、数と式、図形の計量、2次関数及びデータの分析及び場合の数と確率における数学的な見方や考え方を身に付けている。
主体的に学習に取り組む態度	数と式、図形と計量、2次関数及びデータの分析、場合の数と確率、整数の性質または図形の性質の考え方に関心をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に活用しようとする。

4 評価の方法

上の3観点と授業態度、授業内考査、小テスト、発表内容、課題等から総合的に評価する。

5 担当者からのメッセージ

(確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など)

表現数学は、ただ1年次の数学の授業をやり直す科目ではありません。数学Iと数学Aをより深く、幅広く学ぶ科目です。ですから、基礎的な問題や計算練習には多くの時間はとりません。それは自主的に学習して、自らできるように努力してもらいます。授業では基礎知識を活用する問題(いわゆる応用問題)を中心に解説します。入試問題も扱います。問題や課題に対して自ら考え、積極的にかつ地道に取り組むことが、内容を理解する上での最短の道になります。また、自分の解法や考えを他者に説明する習慣も身につけてください。知識や技法だけでなく、数学を理解するための方法や心構えも身に付けてほしいと思います。

また、スタディーサプリを活用して演習や課題に取り組むこともあります。ログイン方法や課題の取り組み方になれておきましょう。

この1年間で数学IおよびAの知識を確かなものに確立していきます。しっかり日頃の授業に取り組んでください。

単位数	2単位	学科・学年・学級	普通科・2年次・選択者
教科書	改訂 新編物理基礎 (東京書籍)	副教材等	改訂 ネオパルノート 物理基礎 (第一学習社)

1 学習の到達目標

日常生活や社会との関連を図りながら物体の運動と様々なエネルギーへの関心を高める。
 目的意識をもって観察、実験などを行い、物理学的に探究する能力と態度を育てる。
 物理学の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な見方や考え方を養う。

2 学習の計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4	1編 物体の運動とエネルギー 1章 直線運動の世界	運動の表し方 変位と速度 等速直線運動 合成速度と相対速度 速度が変わる運動 自由落下 鉛直投射 水平投射	<ul style="list-style-type: none"> 変位や速度などの物体の運動の基本的な表し方について理解する。 同一直線上を等速直線運動している物体の合成速度や相対速度について理解する。 物体が直線上を運動する場合の加速度について理解する。 (実験) 等加速度直線運動 	行動観察 ワークシート分析 小テスト 実験レポート分析 ワークシート分析 ・定期考査
	5		中間考査	<ul style="list-style-type: none"> 物体が空中を落下する際の運動の特徴、及び物体にはたらく力と運動の関係について理解する。 	
	6	2章 力と運動の法則	力とつり合い 力の合成と分解 垂直抗力と弾性力 慣性の法則 運動の変化と力 作用反作用の法則 動摩擦力とその性質 静止摩擦力とその性質 空気の抵抗力 水圧と浮力	<ul style="list-style-type: none"> 物体にはたらく様々な力をベクトルで表す方法を身につけるとともに、それらの力がつり合う条件を学ぶ。 力の合成や分解をベクトルで扱えるようになる。 	行動観察 ワークシート分析 ワークシート分析 行動観察 実験レポート分析 ・定期考査
7		運動の変化と力 作用反作用の法則 動摩擦力とその性質 静止摩擦力とその性質 空気の抵抗力 水圧と浮力	<ul style="list-style-type: none"> 直線運動を中心に慣性の法則、運動の第2法則、作用・反作用の法則について理解する。 摩擦力、及び液体や気体から受ける力(圧力、浮力、抵抗力)について理解する。 (実験) 浮力の測定 	ワークシート分析 行動観察 実験レポート分析 ・定期考査	
7		期末考査			・定期考査
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第2学期	9	3章 仕事とエネルギー 2編 さまざまな物理現象とエネルギー 1章 熱	仕事 仕事率 運動エネルギー 位置エネルギー 力学エネルギーの保存 温度と熱 熱と物質 熱の移動と保存 熱と仕事 熱機関の不可逆変化	<ul style="list-style-type: none"> 仕事の定義、及び仕事の原理と仕事率について理解する。 仕事をする能力としての位置エネルギーと運動エネルギーの表し方について理解する。 力学的エネルギー保存の法則とその適用条件について理解し、この法則を用いている様々な運動を分析できるようになる。 原子や分子の熱運動と温度との関係を定性的に理解する。 物質の三態変化、絶対温度、及び潜熱(融解熱、蒸発熱)について理解する。 熱量、熱容量、比熱、及び熱量の保存について理解し、熱を定量的に扱えるようになる。 仕事と熱の変換、内部エネルギー、及び熱力学第1法則について学び、熱現象とエネルギーの関係について理解する。 (実験) 比熱の測定 熱機関とその熱効率、及び熱現象の不可逆性について学ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 ノート提出 実験報告書 小テスト
	10				

第2学期			中間考査	教科書P. 80-113	・定期考査	
	11	2章 波	波 色々な波 波の表し方 横波と縦波 波の重ね合わせ 定在波 波の反射 音波 弦の固有振動 気柱の固有振動期末考査	・波の基本的な性質を理解し、波の波長、振動数、波の伝わる速さなどを定量的に扱えるようになる。 ・横波と縦波の違いを理解する。 ・波の独立性、重ね合わせの原理、反射について観察や作図を通して学び、定常波ができるしくみについて理解する。 ・音波の性質として、うなり、固有振動、共振、共鳴などを学び、身近な楽器の原理について理解する。 (実験) 気柱共鳴実験	行動観察 ワークシート分析 ワークシート分析 行動観察 ワークシート分析 実験レポート分析	
				期末考査		・定期考査
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等	
第3学期	1	3章 電気	動いていない電気 動いている電気 電流と電気抵抗 直列接続と並列接続 電力と電力量 電流が作る磁場 発電機の仕組み 直流と交流 電磁波 エネルギーの変換と保存 原子核のエネルギー 放射線の利用と安全性	・(演示実験) 静電気 ・帯電の仕組みを理解する。 ・電流の性質・抵抗の性質を理解し、回路を流れる電流の性質について理解する。 ・電流のエネルギーについて、電力と電力量を計算で求められるようになる。 ・右ねじの法則を学び、電流による磁界について理解する。 ・電流が磁界から受ける力について学び、モーターの原理を理解する。 ・原子力発電や医療などにおける放射線及び原子力の利用とそれに伴うリスクについて、具体的な事例に触れながら理解を深める。	行動観察 ワークシート分析 ワークシート分析 行動観察 小テスト ワークシート分析 ワークシート分析	
	2					
	3			学年末考査	教科書P. 142-167	・定期考査

3 評価の観点

知識・技能	物体の運動と様々なエネルギーについて、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。 物体の運動と様々なエネルギーに関する事物・現象の中に問題を見だし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。
思考・判断・表現	物体の運動と様々なエネルギーに関する事物・現象の中に問題を見だし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。
主体的に学習に取り組む態度	日常生活や社会との関連を図りながら物体の運動と様々なエネルギーについて関心をもち、意欲的に探究しようとするとともに、科学的な見方や考え方を身に付けている。

4 評価の方法

知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度の3観点から評価規準に従い、総合的に評価する。

5 担当者からのメッセージ (確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など)

現象と式、式と現象を結びつける論理的思考を一緒に身に付けていきましょう。 まわりの人と協力して難しいことを理解しようとする姿勢や、あきらめない気持ちが大切です。 復習を必ず行いましょう。

単位数	2単位	学科・学年・学級	普通科・国際人文科・2年次・選択者
教科書	改訂 生物基礎 (東京書籍)	副教材等	改訂 ニューステップアップ生物基礎 (東京書籍)

1 学習の到達目標

生物や生物現象に対する探究心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、生物学的に探究する能力と態度を育てるとともに、生物学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的な自然観を育成する。

2 学習の計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4	1編 1章 生物の多様性と共通性	1節 生物の多様性 2節 生物の共通性 3節 細胞の特徴	<ul style="list-style-type: none"> 地球上に住む生物の種類が膨大であることに気づき、地球上に多様な種が見られるのはなぜか考える。 生物と非生物の違いが何科を考えることを通して、生物と非生物を分ける基準が存在することに気づく。 すべての生物のもつDNAが細胞のどこにあるかを考える。 多様な姿の細胞は、どのような共通性をもっているのか考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 ノート提出 実験報告書 小テスト
	5	1編 2章 生物とエネルギー	1節 生体とATP 2節 生体内の化学反応 3節 呼吸と光合成	<ul style="list-style-type: none"> 光合成は、光エネルギーによってATPをつくり、有機物を合成する過程であることを理解する。 呼吸は、酵素の働きによってATPがつけられる過程であることを理解する。 共生説の考え方を理解する。 	
				中間考査	教科書P. 8～48
	6	2編 1章 遺伝情報とタンパク質	1節 生物と遺伝子 2節 DNAの構造 3節 DNAの複製と分配	<ul style="list-style-type: none"> ヌクレオチドの構造および、塩基の相補性にもとづくDNAの二重らせん構造について理解する。 身近な材料を用いて、DNAを抽出する。また、染色してその存在を確認する。 細胞の分裂の各過程で起こる現象を理解する。 タマネギの根端を用いて、細胞分裂の各段階を観察する。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 ノート提出 実験報告書 小テスト
	7	2編 2章 遺伝情報とタンパク質	1節 タンパク質 2節 DNAとタンパク質の合成 3節 細胞分化と遺伝子	<ul style="list-style-type: none"> タンパク質の働きや構造などを理解する。 酵素の基本的な特徴について理解する。 ダイコンに含まれるカタラーゼを用いて実験を行い、酵素の特徴を確認する。 転写と翻訳の流れを理解する。 遺伝子はゲノムの一部であることを理解する。 	
			期末考査	教科書P. 50～90	
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第2学期	9	3編 1章 体内環境と情報伝達	1節 体内環境 2節 神経系による情報伝達 3節 ホルモンによる情報伝達 4節 血糖濃度の調節	<ul style="list-style-type: none"> 恒常性と体液の種類である血液、組織液、リンパ液について理解する。 心臓や血液循環の経路、肝臓、腎臓について理解する。 恒常性と体液の種類である血液、組織液、リンパ液について理解する。 単細胞生物や無脊椎動物、魚類の体液の濃度調節について理解する。 動物の体液の濃度が、自律神経系とホルモンの働きによって調節されていることを理解する。 ホルモン分泌の調節のしくみについて理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 ノート提出 実験報告書 小テスト
	10				中間考査

第2学期	11	3編 2章 免疫の働き	1節 免疫のしくみ 2節 免疫記憶 3節 免疫とさまざまな疾患	<ul style="list-style-type: none"> 皮膚や上皮による生体防御について理解する。 免疫の概要を理解する。 アレルギーや自己免疫病、エイズなど身近な免疫に関する疾患の生じるしくみを理解する。 免疫のしくみを用いている予防接種や血清療法 of のしくみを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 ノート提出 実験報告書 小テスト
	12	4編 1章 植生と遷移	1節 植生とその環境 2節 植生の遷移 3節 遷移とバイオーム 期末考査	<ul style="list-style-type: none"> バイオームの概念を理解する。 森林の階層構造を理解する。 光の強さと光合成速度の関係のグラフを理解する。 陽生植物、陰生植物の光合成速度の特徴を理解する。 植生は不変ではなく、長期的には移り変わっていることを理解する。 気温と降水量の違いによってさまざまなバイオームが成立していることを理解する。 <p>教科書P.124～174</p>	
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第3学期	1	4編 2章 生態系と生物の多様性	1節 生態系における生物の多様性 2節 生態系における生物間の関係 3節 生態系と攪乱 4節 生態系の保全	<ul style="list-style-type: none"> 生態系の構成や食物連鎖（食物網）について理解する。 生態ピラミッドや物質の生産と消費の関係を理解する。 生態系内における炭素と窒素の循環を理解する。 植物が菌根菌と共生していることを確認する。 生物の個体数や量は、常に一定の範囲内で変動しながらバランスが保たれていることを理解する。 人間活動が生態系にさまざまな影響を与えていることを理解する。 外来生物の移入が在来生物に与える影響について理解する。 生態系を保全するために、さまざまな条約が締結され、それにもとづいた国内法が整備されていることを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 ノート提出 実験報告書 小テスト
	2				
	3			学年末考査	教科書P.176～208

3 評価の観点

知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 生物や生物現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けているか。 観察・実験を行い、基本操作を修得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、生物や生物現象を科学的に探究する技能を身に付けているか。
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 生物や生物現象の中に問題を見だし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現できるか。
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 生物や生物現象に関心や探究心を持ち、意欲的にそれらを探究しようとするとともに、科学的な見方や考え方を身に付けているか。

4 評価の方法

知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度の3観点から評価規準に従い、総合的に評価する。

5 担当者からのメッセージ (確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など)

<p>高校の生物の学習では、主に生命現象を理解するために、DNAやタンパク質などミクロの世界の現象を扱ったり、一方で生態系など大きなレベルでの現象を扱ったりすることも多い。これらは、ともに目に見えるレベルでの現象ではないことが多いため、理解が難しいこともある。しかし、生物学を学ぶことで、ヒトをはじめ生物とは何か、より深く理解し、今までとは異なる見方ができるようになる。</p> <p>授業では、それぞれ担当の先生が伝える、授業を受けるにあたってのアドバイスを守ることが大切になる。また、当たり前だが、提出物等を必ず提出すること。</p>

単位数	2 単位	学科・学年・学級	普通科・2年次・選択者
教科書	高等学校 新化学基礎 (第一学習社) 新編物理基礎 (東京書籍)	副教材等	改訂 ネオパルノート物理基礎 (第一学習社) 改訂 ネオパルノート化学基礎 (第一学習社)

1 学習の到達目標

基礎的な科学の知識を身につけ、基本的な科学的概念や原理を学び、自分の言葉で現象を表現する。
また自然現象を科学の立場から理解し、実際の現象を実験をし観察することによって直に触れ、より一層の理解を深める。

2 学習の計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4	第3節 酸化還元反応	①酸化と還元 ②酸化数と酸化還元反応 ③酸化剤・還元剤と金属のイオン化傾向	<ul style="list-style-type: none"> 酸化と還元の定義を理解する。 酸化数を学習し、酸化剤と還元剤の反応を理解する。 酸化剤と還元剤の反応と金属のイオン化傾向を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 ノート提出 実験報告書 小テスト
	5				
	6	第3節 酸化還元反応	④酸化還元反応の利用 ⑤電池 ⑥電気分解 探究活動	<ul style="list-style-type: none"> 酸化還元反応の利用例として、製錬や電池の原理を学習する。 金属のイオン化傾向について、観察・実験を通して探究し、実験技能の習得や理解を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 ノート提出 実験報告書 小テスト
	7				
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第2学期	9	⑦課題研究発表	プレゼンテーション	<ul style="list-style-type: none"> 与えられた課題について、個人またはグループで調査し、発表する。発表材料の作成を通して表現の手法について学ぶ。発表する、発表を聞く活動を通して効果的な発表表現方法について学習する。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 発表
	10				

第2学期	11	物理実験レポートの書き方 重力加速度の測定実験 摩擦の測定実験 記述式解答の作り方	<ul style="list-style-type: none"> 物理実験レポートの書き方について講義を聞き、レポートを通じて自分の考えを表現するための様式を学ぶ。 重力加速度を測定し、レポートにまとめる。 さまざまな摩擦を測定し、レポートにまとめる。 記述式問題に対しての解答のポイントを学習し、言葉と数式で論理的に解答を示す力を身につける。 応用問題に取り組み、記述式解答を作成する。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 レポート提出 小テスト 発表 	
	12	1編 物体の運動とエネルギーについての問題演習 授業内テスト	<ul style="list-style-type: none"> 記述式問題の実践テストで学習の成果を確認する。 		
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第3学期	1	2編 さまざまな物理現象とエネルギーについての問題演習	比熱の測定実験	<ul style="list-style-type: none"> さまざまな金属の比熱を測定し、レポートにまとめる。 未知の音源の振動数を測定し、レポートにまとめる。 共通テストの問題に取り組む。 Newtonを読み、その内容をもとにプレゼンテーションを行う。 応用問題に取り組み、記述式解答を作成する。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 レポート提出 小テスト 発表
	2		気柱共鳴実験 共通テストに関する問題演習 科学雑誌 Newtonの発表		
	3		授業内テスト		

3 評価の観点

知識・技能	物質とその変化、物体の運動と様々なエネルギーについて、基本的な概念や原理・法則を理解し、身に付けている。物質とその変化に関する観察、実験などを行い、基本的操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。
思考・判断・表現	物質とその変化の中に問題を見だし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。物体の運動と様々なエネルギーに関する事物・現象の中に問題を見だし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。
主体的に学習に取り組む態度	日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化について関心をもち、意欲的に探究しようとするとともに、科学的な見方や考え方を身に付けている。日常生活や社会との関連を図りながら物体の運動と様々なエネルギーについて関心をもち、意欲的に探究しようとするとともに、科学的な見方や考え方を身に付けている。

4 評価の方法

知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度の3観点から評価規準に従い、総合的に評価する。

5 担当者からのメッセージ (確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など)

目の前の事象、教科書に載っている事象については身近な知識で説明ができたり、みなさんが学ぶ理科基礎の知識で説明できることがほとんどです。丸暗記に走らず理屈っぽく考えることを楽しめるように頑張りましょう。

単位数	2単位	学科・学年・学級	普通科・2年次・選択者
教科書	高等学校 新化学基礎（第一学習社）改訂 生物基礎（東京書籍）	副教材等	なし

1 学習の到達目標

自然の事物・現象に対する関心や探究心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、科学的に探究する能力と態度を育てるとともに自然の事物・現象についての理解を深め、科学的な自然観を育成する。日常生活や社会との関連を図りながら地球や地球を取り巻く環境への関心高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、地学的に探究する能力と態度を育てるとともに、地学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。

2 学習の計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4	生物の多様性と共通性 遺伝情報とDNA 体内環境と情報伝達	①細胞の観察	グループでの実験を基本として学習していく。 ・実験に関する予備知識を学ぶ。 ・指定された学習分野に関する実験について調べ、ポイントや実験方法などをまとめる。 ・グループで内容について話し合い、実験考察をする。 ・授業用の資料（プリント、PP）を作成する。	・授業態度 ・発問評価 ・実験報告書 ・テスト ・発表
	5		②植物の構造 ③DNA ④臓器の構造 ⑤酵素のはたらき		
	6				
	7				
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第2学期	9	酸化還元反応	①酸化と還元	基本的な知識学習は通信教材（スタディサプリ）を活用して個人、グループで学習する。 グループでの実験模擬授業をするために以下の活動を行う。 ・指定された学習分野に関する実験について調べ、ポイントや実験方法などをまとめる。 ・グループで内容について話し合い、模擬授業で行う実験について協議する ・予備実験を行う。 ・授業用の資料（プリント、PP）を作成する。 ・模擬授業を行う。 ・模擬授業を受けた際は相互評価をする。	・意欲的に取り組んでいるか。（行動観察） ・資料作成に工夫をしているか（データ確認） ・お互いの発表を聞き、質問や回答をしっかりとできているか（シート提出）
	10		②酸化数と酸化還元反応 ③酸化剤・還元剤と金属のイオン化傾向 酸化還元反応 ④酸化還元反応の利用 ⑤電池 ⑥電気分解		
	11				

	12				
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第3学期	1	課題研究発表	プレゼンテーション	<ul style="list-style-type: none"> 与えられた課題について、個人またはグループで調査し、発表する。 発表材料の作成を通して表現の手法について学ぶ。 発表する、発表を聞く活動を通して効果的な発表表現方法について学習する。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 ノート提出 発表
	2				
	3				

3 評価の観点

知識・技能	物質とその変化について、基本的な概念や原理・法則を理解し、身に付けている。物質とその変化に関する観察、実験などを行い、基本的操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。
思考・判断・表現	物質とその変化の中に問題を見いだし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。
主体的に学習に取り組む態度	日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化について関心をもち、意欲的に探究しようとするとともに、科学的な見方や考え方を身に付けている。

4 評価の方法

授業内のテスト、提出物（ワークシート）、模擬授業の態度を総合的に評価する

5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身に付けるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守ってほしい事項など）

目の前の事象、教科書に載っている事象については身近な知識で説明ができたり、みなさんが学ぶ理科基礎の知識で説明できることがほとんどです。丸暗記に走らず理屈っぽく考えることを楽しめるように頑張りましょう。
--

令和8年度松戸市立松戸高等学校 保健体育「 体育Ⅰ 」

単位数	2	学科・学年・学級	普通科 2年1～7組 国際人文科 2年8組
教科書	現代高等保健体育（大修館書店）	副教材	

1. 学習の到達目標

- ①お互いに助け合いながら、学習に主体的に取り組める。
 ②自己や仲間の技術的な課題や有効な練習方法の選択をし、挑戦する課題を設定することができる。
 ③記録や技に挑戦して、新たな得意技や高度の攻防などの動きを高めることができる。
 ④運動の課題解決の方法について理解できる。

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	体育理論	体育理論 2. 運動やスポーツの効果的な学習の仕方①	<ul style="list-style-type: none"> ・運動やスポーツの技術と技能 ・運動やスポーツの技能の上達過程 	<ul style="list-style-type: none"> ・体育理論新聞
5	球技	サッカー	<ul style="list-style-type: none"> ・ボールを使ったウォーミングアップ（リフティング・サッカーテニス） ・個人技術（パス、ドリブル、シュート） ・対人練習（2対2、3対2、3対3） ・守備の戦術についての話し合い ・試合（審判法を学ぶ） ・学習の振り返り 	<ul style="list-style-type: none"> ・行動観察 ・行動観察 ・学習カード分析 ・学習カード分析 ・スキルテスト ・学習カード分析
6	球技	バスケットボール	<ul style="list-style-type: none"> ・ボールを使ったウォーミングアップ ・基本的な個人技術（パス、ドリブル、シュート） ・対人練習（1対1、2対2、3対3） ・攻撃の戦術についての話し合い ・試合（ルールを学ぶ） ・学習の振り返り 	<ul style="list-style-type: none"> ・行動観察 ・行動観察 ・学習カード分析 ・学習カード分析 ・記録計測 ・学習カード分析
9	体育理論	体育理論 2. 運動やスポーツの効果的な学習の仕方②	<ul style="list-style-type: none"> ・運動やスポーツの技能と体力の関係 ・運動やスポーツの活動時の健康・安全の確保の仕方 	<ul style="list-style-type: none"> ・体育理論新聞 ・行動観察
	体づくり運動	体づくり運動（長縄）	<ul style="list-style-type: none"> ・試しの長縄跳び ・リズムよく跳ぶ ・縄の回し方と跳び方 ・声かけ ・クラスの課題発見 ・体力の限界に挑戦する 	<ul style="list-style-type: none"> ・記録計測 ・行動観察 ・行動観察 ・行動観察 ・学習カード分析 ・記録計測

10	器械運動	マット運動	<ul style="list-style-type: none"> ・柔軟性を高める下位動作 ・基本的な技① ・基本的な技② ・発表に向けての練習 ・ミニ発表会 ・学習の振り返り 	<ul style="list-style-type: none"> ・行動観察 ・学習カード分析 ・スキルテスト ・ワークシート分析 ・スキルテスト ・学習カード分析
11	球技	バドミントン	<ul style="list-style-type: none"> ・柔軟性を高める下位動作 ・基本的な技① ・基本的な技② ・発表に向けての練習 ・ミニ発表会 ・学習の振り返り 	<ul style="list-style-type: none"> ・行動観察 ・スキルテスト ・行動観察 ・行動観察 ・行動観察 ・学習カード分析
1 2 3	陸上競技	陸上競技（長距離）	<ul style="list-style-type: none"> ・準備運動 ・ペース走 ・時間走 ・タイムトライアル ・距離走 ・整理運動、ストレッチ 	<ul style="list-style-type: none"> ・行動観察 ・行動観察 ・記録計測 ・記録計測 ・記録計測 ・行動観察

3. 評価の観点

知識・技能	各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。
思考・判断・表現	運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う
主体的に学習に取り組む態度	生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

4. 評価の方法

知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度の3観点から総合的に評価する。

5. 担当者からのメッセージ（確かな学力を身に付けるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など）

<ul style="list-style-type: none"> ①安全面には特に配慮し、事故が起こらないように注意してください。 ②服装や貴重品の管理等の日常的な注意事項を遵守してください。 ③時間を守り集合・整列してください。 ④自ら学ぶことが上達のポイントです。積極的に体を動かしましょう。
--

令和8年度松戸市立松戸高等学校 保健体育「 体育Ⅱ 」

単位数	1	学科・学年・学級	普通科 2年1～7組 国際人文科 2年8組
教科書	現代高等保健体育 (大修館書店)	副教材	

1. 学習の到達目標

<p>①自らの健康・安全を確保し、学習に自主的に取り組める。</p> <p>②自己の課題に応じ、運動の行い方の改善すべきポイント見つけて適切な練習方法を選ぶことができる。</p> <p>③中学時代に身につけた技能や動きをより高め、運動の特性に応じた、種目特有の技能を身につけることができる。</p> <p>④技術の名称や行い方、体力の高め方について理解できる。</p>
--

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	体育理論	体育理論 (入学年次) 1. スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツの歴史的発展と多様な変化 ・現代のスポーツの意義や価値 	<ul style="list-style-type: none"> ・体育理論新聞 ・行動観察 ・ワークシート分析
5	武道	・剣道	<ul style="list-style-type: none"> ・礼法・所作 ・構え・足掻き ・基本の技と受け方 (面・小手・胴・小手面・小手胴) ・胴・垂の着装 ・引き技と受け方 (引き面・引き小手・引き胴) ・すり足でのパターン練習 	<ul style="list-style-type: none"> 行動観察 行動観察 行動観察 行動観察 行動観察 スキルテスト
6		・柔道	<ul style="list-style-type: none"> ・礼法・所作 ・柔道着の着方 ・補助運動 (柔軟運動・補強運動) ・受け身の基本 (後受身・横受身・前回り受身) ・受け身の応用 (後受身・横受身・前回り受身) ・学習の振り返り 	<ul style="list-style-type: none"> 行動観察 行動観察 行動観察 スキルテスト スキルテスト 学習カード
7				
9	体育理論	体育理論 (入学年次) 1. スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツの経済的効果と高潔さ ・スポーツが環境や社会にもたらす影響 	<ul style="list-style-type: none"> ・体育理論新聞 ・行動観察 ・ワークシート分析
10	体づくり運動	長縄	<ul style="list-style-type: none"> ・試しの長縄跳び ・リズムよく跳ぶ ・縄の回し方と跳び方 ・声かけ ・クラスの課題発見 ・体力の限界に挑戦する 	<ul style="list-style-type: none"> 行動観察 行動観察 行動観察 行動観察 行動観察 記録計測
11	球技	卓球	・ラリーによるウォーミングアップ	・行動観察
12			・基本的な個人技術 (サービス、ストローク、ドロップ、ボレー)	・スキルテスト
1			・実践練習 (シングルス、ダブルス)	・行動観察
2			・戦術およびリーグ戦の運営についての話し合い	・行動観察
3	・リーグ戦	・行動観察		
			・学習の振り返り	・学習カード分析

3. 評価の観点

知識・技能	各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。
思考・判断・表現	運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
主体的に学習に取り組む態度	生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

4. 評価の方法

知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度の3観点から総合的に評価する。

5. 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など）

- ①安全面には特に配慮し、事故が起こらないように注意してください。
- ②服装や貴重品の管理等の日常的な注意事項を遵守してください。
- ③時間を守り集合・整列してください。
- ④自ら学ぶことが上達のポイントです。積極的に体を動かしましょう。

令和8年度松戸市立松戸高等学校 保健体育「保健」

単位数	1	学科・学年・学級	普通科 2年1～7組 国際人文科 2年8組
教科書	現代高等保健体育（大修館書店）	副教材	現代高等保健体育ノート（大修館書店）

1. 学習の到達目標

- ①テーマについて関心をもち、学習活動に意欲的に取り組むことができる。
 ②課題解決を目指して、知識を活用した学習活動などにより、総合的に考え、判断し、それらを表すことができる。
 ③テーマについての基礎的な事項を理解できる。

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	生涯を通じる健康	ライフステージと健康	ライフステージと健康の関連および各ライフステージで活用できる社会からの支援について説明することができる	行動観察 ワークシート分析
		思春期と健康	思春期における心身の変化、および健康課題について理解し、説明することができる。	行動観察 ワークシート分析
		性意識と性行動の選択	性意識の男女差、性に関する情報が性行動の選択に影響を及ぼすことについて理解し、説明することができる。	行動観察 ワークシート分析
5		妊娠・出産と健康	妊娠・出産の過程における健康課題、妊娠・出産期に活用できる母子保健サービスについて理解し、説明することができる。	行動観察 小テスト
		避妊法と人工妊娠中絶	家族計画の意義と適切な避妊法、人工妊娠中絶が女性の心身に及ぼす影響について理解し、説明することができる。	行動観察 ワークシート分析
6		結婚生活と健康	心身の発達と結婚生活の関係、結婚生活を健康的に送るために必要な考え方や行動について説明することができる。	行動観察 ワークシート分析
		中高年期と健康	加齢にともなう心身の変化、高齢社会に必要な社会的に必要な取り組みについて理解し、説明することができる。	行動観察 ワークシート分析
7		働くことと健康	働くことの意義や健康とのかかわり、働き方と健康問題の変化について理解し、説明することができる。	行動観察 ワークシート分析
9	健康を支える環境づくり	労働災害と健康	労働災害および、労働災害を防ぐための安全管理と健康管理のしくみについて理解し、説明することができる。	行動観察 小テスト
		健康的な職業生活	職場がおこなう健康増進対策、余暇の意義と活用のしかたについて理解し、説明することができる。	行動観察 ワークシート分析
10		大気汚染と健康	大気汚染の原因とその健康影響、大気にかかわる地球規模の環境問題について理解し、説明することができる。	行動観察 ワークシート分析
		水質汚濁、土壌汚染と健康	水質汚濁の原因とその健康影響、土壌汚染の原因とその健康影響、大気汚染・水質汚濁・土壌汚染のかかわりについて理解し、説明することができる。	行動観察 小テスト
11		環境と健康に関わる対策	環境汚染による健康被害を防ぐ方法についての理解、産業廃棄物の処理について理解し、説明することができる。	行動観察 ワークシート分析
		ごみの処理と上下水道の整備	ごみの処理の現状とその課題、上下水道の整備について理解し、健康に関わる課題を説明することができる。	行動観察 ワークシート分析
12		食品の安全性	食品の安全性と健康の関わりおよび今日の課題について説明することができる。	行動観察 ワークシート分析
		食品衛生にかかわる活動	食品の安全性を確保するための行政や製造者の役割および個人の役割について説明することができる。	行動観察 ワークシート分析
1		保健サービスとその活用	保健行政の役割および保健サービスの活用について説明することができる。	行動観察 ワークシート分析
		医療サービスとその活用	わが国における医療保険のしくみおよび医療機関の役割について説明することができる。	行動観察 ワークシート分析

2	医薬品の制度とその活用	医薬品の正しい使用法、医薬品の安全性を守る取り組みについて理解し、説明することができる。	行動観察 ワークシート分析
	さまざまな保健活動や社会的対策	国際機関・民間機関などの保健活動および行政機関による社会的対策について説明することができる。	行動観察 ワークシート分析
3	健康に関する環境づくりと社会参加	健康の保持増進のための環境づくりおよび主体的な参加が自他の健康づくりにつながることを説明できる。	行動観察 小テスト

3. 評価の観点

知識・技能	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。
思考・判断・表現	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。
主体的に学習に取り組む態度	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

4. 評価の方法

知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度の3観点から総合的に評価する。

5. 担当者からのメッセージ（確かな学力を身に着けるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など）

- ①授業中の板書事項だけでなく、左ページについても回答し、日常的にノート整理に努めてください。
- ②ノートは各学期末に提出します。
- ③日頃から健康や安全に関心を持ち、生涯を通じる健康を目指しましょう。

令和8年度松戸市立松戸高等学校 保健体育「 専攻実技 」

単位数	2	学科・学年・学級	普通科 2年1～7組
教科書	現代高等保健体育（大修館書店）	副教材	

1. 学習の到達目標

- ①選択した種目に関しての総合的な理解を通じて、生涯にわたって「する・みる・支える・調べる」等の多様な関わり方について考察しながら専門種目の振興発展に寄与できる資質や能力を育てる。
 ②生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現を目指して、取り組みを工夫することができる。
 ③1年間を通じて選択した種目に関してより高度な技術、戦術、体力、精神力に関して理論と実習を通して学習し、競技力の向上や健康の保持増進の実践力を育成する。

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	選択した種目に取り組む。 学習の振り返り まとめ	オリエンテーション		・行動観察
5		・選択した種目に関するコーチング学、トレーニング学等の知識や理論を学びながら実習または発表活動を行う。		・学習カード分析
6		・学習カードの記入	・学習カードを記入し、提出する。	・発表活動 ・学習カード分析
7		・レポートの作成	・レポートを作成し、提出する。	・レポート分析
9	選択した種目に取り組む。 学習の振り返り まとめ	・選択した種目に関するコーチング学、トレーニング学等の知識や理論を学びながら実習または発表活動を行う。		・行動観察
10				・学習カード分析
11		・学習カードの記入	・学習カードを記入し、提出する。	・発表活動 ・学習カード分析
12		・レポートの作成	・レポートを作成し、提出する。	・レポート分析
1	選択した種目に取り組む。 学習の振り返り まとめ	・選択した種目に関するコーチング学、トレーニング学等の知識や理論を学びながら実習または発表活動を行う。		・行動観察
2				・学習カード分析 ・発表活動
3		・学習カードの記入 ・レポートの作成	・学習カードを記入し、提出する。 ・レポートを作成し、提出する。	・学習カード分析 ・レポート分析

3. 評価の観点

知識・技能	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。
思考・判断・表現	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。
主体的に学習に取り組む態度	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

4. 評価の方法

知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度の3観点から総合的に評価する。

5. 担当者からのメッセージ（確かな学力を身に着けるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など）

- ①安全面には特に配慮し、事故が起こらないように注意してください。
 ②服装や貴重品の管理等の日常的な注意事項を遵守してください。
 ③時間を守り集合・整列してください。
 ④「専攻実技」の意味を考え、「体育」とは異なる視点で授業に参画しましょう。

令和8年度 芸術科「音楽Ⅱ」シラバス

単位数	2単位	学科・学年・学級	普通科 2年次 1～7組 国際人文科 2年次 8組
教科書	高校生の音楽2（教育芸術社）	副教材等	

1 学習の到達目標

音楽の諸活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てる。音楽への感性を高め、個性豊かな表現の能力と主体的な鑑賞の能力を伸ばす。音楽の諸活動を通して、音楽文化についての理解を深める。

2 学習の計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4	歌唱に親しみ、そのよさを味わって、表現しよう	【歌唱】 ・からたちの花 ・浜千鳥	・日本語に関心をもち、歌唱曲のよさに触れる。 ・曲の構成などを理解し、楽曲の持つ雰囲気を感じ取って表現する。 ・発声などを含め、個性豊かに自分なりに表現する。 ・読譜力を高め、さまざま音楽表現を行う。 ・仲間と協調し合って音楽を作り上げる。 ・楽曲の特徴を感じ取り、表現を工夫する。	・行動観察 ・学習プリント ・実技試験
	5	いろいろなアンサンブルの形態を知り、表現しよう	【器楽】 ・リズム 「ロック・トラップ」		
	中間考査				
	6	楽器の響きを味わって表現しよう	【器楽】 ・ギター 基本の弾き方 弾き語り		
7	鑑賞	【鑑賞】 ・古典派 「モーツァルト三大オペラ」 ・フィガロの結婚 ・魔笛	・楽曲の構成とアンサンブルとの関係に気づいて鑑賞する。		
期末考査					
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第2学期	9	声の響きを味わって、表現しよう	【歌唱】 ・オペラアリア ・Voi che sapete ・Der Vogelfanger bin ich ja	・外国語に関心をもち、歌唱曲のよさに触れる。 ・曲の構成などを理解し、楽曲の持つ雰囲気を感じて表現する。 ・アンサンブルの響きを感じ取り、表現を行う。 ・発声などを含め、個性豊かに自分なりに表現する。 ・読譜力を高め、さまざま音楽表現を行う。	・行動観察 ・学習プリント ・実技試験
	10	日本の音色に親しみ、特徴を感じ取ろう	【器楽】 ・箏アンサンブル 「さくらさくら」		
	中間考査				
	11	日本音楽の良さを感じよう	【器楽】 ・三味線実技講習		
12	鑑賞	【鑑賞】 ・バロック ・箏曲	・楽曲の構成とアンサンブルとの関係に気づいて鑑賞する。 ・音階やリズムについての理解を深める。 ・曲の個性や雰囲気を作り上げている音楽の諸要素を理解して鑑賞を行う。 ・楽曲の構成など、音楽の諸要素が、どのような働きをしているか聴き取る。		
期末考査					

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第3学期	1	歌唱曲に親しみ、そのよさを味わって、表現しよう	【歌唱】 ・ave verum corpus	<ul style="list-style-type: none"> 日本語や外国語に関心をもち、歌唱曲のよさに触れる。 曲の構成などを理解し、楽曲の持つ雰囲気を感じて表現する。 発声などを含め、個性豊かに自分なりに表現する。 自分の思いや意図を音楽に乗せる。 音色や構成を工夫し、表現を工夫する。 	<ul style="list-style-type: none"> 行動観察 学習プリント 実技試験
	2	自分の意思を持って、楽曲を創作しよう	【創作】 ・ヴォイスアンサンブル ・作曲実技講習		
	3		学年末考査		

3 評価の観点

知識・技術	自己のイメージをもち、個性豊かに創造的な表現をするための技能を身に付けている。 楽曲の構成など、音楽の諸要素がどのような働きをしているか聴き取っている。
思考・判断・表現	感性を働かせて、音楽の諸要素を知覚し、音楽のよさや美しさを感じ取り、個性豊かに創造的な音楽活動の工夫をする。 音楽の諸要素を理解し、それらが音楽にどのような変化をもたらしているか感じ取っている。
主体的に学習に取り組む態度	音楽を愛好し、音楽文化に関心を持ち、個性豊かに意欲的、主体的に音楽活動を行い、その喜びを味わおうとする。 音楽文化に対する理解を深め、そのよさや美しさを主体的に味わう。

4 評価の方法

【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】 の3観点から評価規準に従い、総合的に評価する。

5 担当者からのメッセージ (確かな学力を身に付けるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守ってほしい事項など)

- ・ 授業の諸活動に意欲を持って取り組み、より豊かな表現を心がけて取り組んでください。
- ・ 好みや苦手意識に捉われることなく、音楽の諸活動に取り組んでください。
- ・ 繰り返しの活動が音楽の力を高めます。より良い表現を目指して粘り強く取り組んでください。
- ・ 実技テストではお互いの演奏を鑑賞し、自らの表現のヒントにしてください。

単位数	2単位	学科・学年・学級	第2年1～8組 選択者
教科書	美術2 (光村図書)	副教材等	

1 学習の到達目標

- 1 美術における創造的な活動を通して、美術を愛好する心情を育てる。
- 2 美術を楽しむ態度を通して感性を高め、美術の文化や伝統についての理解を深める。
- 3 個性豊かな表現の能力と美術作品の美しさを感じ取る鑑賞能力を伸ばす。

2 学習の計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4	オリエンテーション	・美術の学習	・一年間通しての美術の学習内容を知る。	ワークシート(主) 下絵・アイデアスケッチ(発、技) 作品(技)
	5	ポスターのデザイン	・鉛筆の使い方、グラデーションの出し方 ・手のデッサン ・ポスターの鑑賞。 ・文化祭(星華祭)のためのポスターのデザイン 中間考査	・「伝えるもの」として様々なポスターを鑑賞し、理解を深める。 ・文化祭のためのポスターというテーマで色の効果やレタリングなど中学校の復習をしていき、画面を構成し、制作していく。	
	6	ポスターのデザイン	・美術の学習 ・ポスターの鑑賞。 ・文化祭(星華祭)のためのポスターのデザイン 作品の鑑賞	・完成したポスターは選別後、美術選択者または生徒投票を実施し星華祭のポスターとして決定する。	
	7		・作品ポスターの鑑賞 期末考査		
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第2学期	9	想像上の生き物のデザイン	・古今東西様々な空想上の生き物の鑑賞 ・生き物のデザイン	・神話状の生物や日本の妖怪、ゲームのキャラクターなどの想像上の生き物を鑑賞し、理解を深める。 ・様々な組み合わせや設定を考え、姿をデザインしていく。 ・紙粘土で造形し、立体的に表現する。	ワークシート(主) 下絵・アイデアスケッチ(発、技) 作品(技)
	10				

第2学期			中間考査		
	11	想像上の生き物のデザイン	<ul style="list-style-type: none"> ・ 神話や妖怪画の鑑賞 ・ 石膏粘土 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 神話状の生物や日本の妖怪、ゲームのキャラクターなどの想像上の生き物を鑑賞し、理解を深める。 ・ 様々な組み合わせや設定を考え、姿をデザインしていく。 ・ 紙粘土で造形し、立体的に表現する。 	ワークシート（主） 下絵・アイデアスケッチ（発、技） 作品（技）
	12		<ul style="list-style-type: none"> ・ 作品鑑賞 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 完成した油彩は相互鑑賞し、代表者は展示する 	
			期末考査		
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第3学期	1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 手のデッサン ・ アニメーションの鑑賞 ・ アニメーションの制作 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 手のデッサン ・ 世界のアニメーションの作品鑑賞 ・ アニメーションとは ・ 作品制作 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2学期の復習 ・ 日本や西洋のアニメーション作品を紹介し、理解を深める。 ・ 様々なアニメーションを紹介し、理解を深める。 ・ 動画、アニメーションの特徴を理解し、表現方法を習得する。 ・ 学習した技法を生かし作品を制作する 	ワークシート（主） 下絵・アイデアスケッチ（発、技） 作品（技）
	2		作品鑑賞	<ul style="list-style-type: none"> ・ 完成作品の鑑賞を通して木彫の美しさを深く味わう心を養う。 	
	3			学年末考査	

3 評価の観点

知識・技能	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、表現方法を工夫して表している。
思考・判断・表現	感性や想像力を働かせて、主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。
主体的に学習に取り組む態度	美術の創造的活動の喜びを味わい、美術や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。

4 評価の方法

学習への参加態度、意欲、理解度（出席状況、用具の扱い方、忘れ物の状況を含む）、作品の仕上がり状況をもとに総合的に評価します。
--

5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身に付けるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守ってほしい事項など）

<ul style="list-style-type: none"> ・ 美術Ⅱでは、美術Ⅰで学んだ内容を更に深めていきます。用具・用材、構成、時代背景といったさまざまな要素を考えましょう。また、それぞれの画材やモチーフの特徴を理解しながら、自らの意図と効果的な表現方法を目指し、創作活動へと展開してください。個性豊かな作品を期待しています。 ・ 学期ごとの提出作品が評価の主となります。時間を持って余すことなく、一生懸命に取り組む、妥協のない提出作品を期待します。

単位数	2単位	学科・学年・学級	普通科2年24567組 人文科2年8組
教科書	工芸Ⅱ	副教材等	

1 学習の到達目標

工芸の創造的な諸活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を深め、生活や社会の中の工芸や工芸の伝統と文化と深く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて制作方法を創意工夫し、個性豊かに創造的に表すことができるようにする。

(2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、工芸の働きなどについて考え、思いや願いなどから個性豊かに発想し構想を練ったり、自己の価値観を高めて工芸や工芸の伝統と文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。

(3) 主体的に工芸の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり工芸を愛好する心情を育むとともに、感性と美意識を高め、工芸の伝統と文化に親しみ、生活や社会を心豊かにするために工夫する態度を養う。

2 学習の計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4	オリエンテーション 人間と道具	・オリエンテーション	「工芸Ⅱ」学習の意義や内容を確認し、1年間の授業内容及び評価の方法を理解する。	・ワークシート ・活動の様子
	5	○素材と技法 「革」 身近な生活と工芸 ・革小物	1. 導入 2. 基本技法による小作品の制作 3. 応用作品の制作 ①デザイン ②プランニング	基本技法による小作品製作 ・作品の構造分類やそれに必要な技術などについて理解しながら、刻印・染色を確実に行う。 ・金具付け・縫製を確実に行うことができる。 ・各自設計デザインを考える ・上級生の作品や参考資料をよく観察し、用途と使いやすいや形や大きさを的確に決定し、模型を作る。	・ワークシート
			中間考査	なし	
	6 7		④染色/床面処理 ⑤金具付け ⑥縫い合わせ	・染料は自然光にて色褪せやすくムラも出やすいので、濃く塗る。2色以上塗るときははみ出しに十分注意しムラなく塗る。 ・パーツが多いので、金具と道具の組み合わせや使い方を慎重に確認しながら取り付ける。 ・革は、繊維が複雑に絡み合っていて固いので、縫うに穴を空ける。 ・穴を、縫い合わせる革同士ずれず、ゆがまず適度な大きさに空ける。たるまず、縫い目を揃えて縫う。 ・できあがった作品のもつ独特の美しさを味わう	・ワークシート ・活動の様子 ・作品提出
			期末考査	なし	
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第2学期	9	○素材と技法 「金属」 社会と工芸 ・シルバリング	1. 導入 鑑賞「金属」 2. デザイン・サイズ測定・地金の長さ割出 3. 地金とり・断面処 4. ロウ付	・彫金の技法を学ぶとともに、装飾としての工芸の役割について理解する。 ・デザインを考える。 ・サイズ測定をし、計算して地金の長さ割出をする。 ・ヤットコと芯出し棒、木槌を用いて、2で平らにした断面を隙間なく合わせる。 ・ガスバーナーの扱いに十分注意しながら、銀ロウ付けをする。	・ワークシート ・活動の様子 ・作品提出
	10				

			中間考査	なし	
	11 12		5. 成形 6. 研磨 7. 鑑賞	<ul style="list-style-type: none"> ・各自のデザイン通りになるよう、糸鋸・鑿で成形する。 ・店頭においてある商品の様に美しい光沢が出るように目指す。 ・お互いの作品の良さを認め合いながら鑑賞する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・活動の様子 ・作品提出
			期末	なし	
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第3 学期		○素材と技法 「樹脂素材」 社会と工芸 ・花瓶	1. 導入 2. デザイン・展開図 3. ファイルを組み立てる 4. ジェスモナイトを流し込む ・鑑賞	<ul style="list-style-type: none"> ・ジェスモナイトという合成樹脂の特徴を知る。 ・贈る相手や造形的な特徴を基に形や色を考え、全体のイメージを捉える。 ・展開図をファイルに写した面が外側になるように組み立てる。 ・形成した型に必要なジェスモナイトを測り、2回に分けて流しかけていく。色彩の工夫をする。 ・完成した花瓶に花を入れて撮影をしたり、他者の作品の意図を話し合いながら鑑賞する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・活動の様子 ・作品提出

3 評価の観点

知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 ・意図に応じて制作方法を創意工夫し、創造的に表している。
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、工芸の働きなどについて考え、思いや願いなどから心豊かに発想し構想を練ったり、価値意識をもって工芸や工芸の伝統と文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的に工芸の幅広い創造活動に取り組もうとしている。

4 評価の方法

知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度の3観点から評価規準に従い、総合的に評価する。

5 担当者からのメッセージ

(確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など)

【授業を受けるにあたって守って欲しい事項】

- ・授業は工芸室で行いますので、速やかに移動し、チャイムと同時に始められるよう準備をしてください。
- ・制服が汚れる可能性がある作業のときは、各自判断してジャージやエプロン等の準備をしてきてください。
- ・安全とスムーズな制作のため、作業スペースの整理整頓を心がけましょう。
- ・電動工具を許可なしに使用したり、教室内の物品を無断で持ち出したりしないでください。
- ・材料や工具、作品は、自他のものにかかわらず大切に扱しましょう。
- ・欠席、公欠等があった場合は、早めに次の指示を受けに来てください。
- ・工芸室は飲食禁止です。
- ・提出物は期限を厳守してください。
- ・作品の未完成、未提出は評価がつかない場合があります。

単位数	2単位	学科・学年・学級	普通科 2年2345組 国際人文科 8組 選択者
教科書	書Ⅱ (教育図書)	副教材等	筆・墨 等

1 学習の到達目標

書道の創造的な諸活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と深く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 書の表現の方法や形式、多様性などについて理解を深めるとともに、書の伝統に基づき、効果的に表現するための技能を身に付けるようにする。

(2) 書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい深く捉えたりすることができるようにする。

(3) 主体的に書の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

2 学習の計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4	オリエンテーション		・「書道Ⅱ」学習の意義や内容を確認し、1年間の授業内容及び評価の方法を理解する。	
	5	漢字の書の学習	隸書の古典 ・乙瑛碑 ・居延漢簡	・漢字の書体の変遷について学ぶ。 ・隸書特有の運筆法の基本を理解する。 ・隸書古典の臨書学習により、基本的な点画の線質の表し方、用筆法・運筆法、結体と構成法について学ぶ。 ・各古典の表現の違いを理解し、その特徴と時代背景を通して鑑賞し、臨書する。 ・各自の作品について制作の意図を発表し、鑑賞しあう。	行動観察 ワークシート 作品途中経過 完成作品 鑑賞
	6		草書の古典 ・書譜	・草書古典の臨書学習により、草書の特徴を踏まえ用筆法・運筆法を学ぶ。 ・草書古典の臨書学習により、基本的な点画の線質の表し方、用筆法・運筆法を学ぶ。 ・孫過庭について学ぶ。 ・古典の表現法を理解し、その特徴と時代と人物を通して鑑賞し、臨書する。	行動観察 ワークシート 作品途中経過 完成作品 鑑賞
	7	創作の学習	漢字の書の創作	・半紙に隸書または草書で作品制作をする。	行動観察 ワークシート 作品途中経過 完成作品 鑑賞
第2学期	9	漢字の書の学習	篆書の古典 ・石鼓文 ・泰山刻石 ・金文 ・甲骨文	・漢字の書体の変遷について学ぶ。 ・篆書特有の運筆法の基本を理解する。 ・篆書古典の臨書学習により、基本的な点画の線質の表し方、用筆法・運筆法、結体と構成法について学ぶ。 ・古典の表現法を理解し、その特徴の時代背景を通して鑑賞し、臨書する。	行動観察 ワークシート 作品途中経過 完成作品 鑑賞

	10	篆刻 ・ 姓名印を作る	<ul style="list-style-type: none"> ・ 書の中の篆刻の位置づけと意味を理解する。 ・ 創作の準備と手順を知る。 ・ 自己の意図やねらいを達成するために、全体構成を考える。 ・ 用具・用材と表現の関係を考える。 ・ 文字と余白の関係を理解し、全体構成を考えた表現を身につける。 ・ 各自の作品について制作の意図を発表し、鑑賞しあう。 	行動観察 ワークシート 作品途中経過 完成作品 鑑賞
	12	創作の学習 条幅作品の制作		

第3学期	1	【仮名の書】 散らし書き ・ 寸松庵色紙 仮名の書の創作	<ul style="list-style-type: none"> ・ 漢字と仮名の調和と用筆の基本について理解する。漢字仮名交じり文の書独特の画面構成を習得する。 ・ 漢字仮名交じりの書を鑑賞し、感じたことを話し合い、自らの鑑賞力を深める。 ・ 創作の準備と手順を知る。・ 用具・用材と表現の関係を考える。 ・ 自己の意図やねらいを達成するために、漢字や仮名の古典を生かした表現を工夫する。 ・ 自らの思考や感動を表現できる語句を選び、漢字仮名交じりで表現方法を工夫し、作品を制作する。 ・ 文字と余白の関係を理解し、全体構成を考えた表現を身につける。 ・ 各自の作品について制作の意図を発表し、鑑賞しあう。 	行動観察 ワークシート 作品途中経過 完成作品 鑑賞
	2	【漢字仮名交じりの書】 漢字仮名交じりの書の作品制作	<ul style="list-style-type: none"> ・ 漢字と仮名の調和と用筆の基本について理解する。漢字仮名交じり文の書独特の画面構成を習得する。 ・ 漢字仮名交じりの書を鑑賞し、感じたことを話し合い、自らの鑑賞力を深める。 ・ 創作の準備と手順を知る。・ 用具・用材と表現の関係を考える。 ・ 自己の意図やねらいを達成するために、漢字や仮名の古典を生かした表現を工夫する。 ・ 自らの思考や感動を表現できる語句を選び、漢字仮名交じりで表現方法を工夫し、作品を制作する。 ・ 文字と余白の関係を理解し、全体構成を考えた表現を身につける。 ・ 各自の作品について制作の意図を発表し、鑑賞しあう。 	行動観察 ワークシート 作品途中経過 完成作品 鑑賞

3 評価の観点

知識・技術	<ul style="list-style-type: none"> ・ 書の表現の方法や形式、書表現の多様性について理解を深めている。 ・ 書の伝統に基づき、作品を効果的に表現するための技能を身に付け、表している。 ・ 書を取り巻く諸文化に関する総合的な知識と技能を組み合わせ、効果的に表現している。
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・ 書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい深く捉えたりしている。 ・ 書の美を構成する要素を多角的な視点で分析し理解することで、意図に即した表現をしている。
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 主体的に書の表現及び鑑賞の創造的な活動に取り組もうとしている。 ・ 特定の単元で身に付けた知識と技能について必要に応じて振り返り、他の単元においても継続して活用しようとしている。

4 評価の方法

知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度の3観点から総合的に評価する。

5 担当者からのメッセージ (確かな学力を身に付けるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守ってほしい事項など)

書道Ⅱでは、書道Ⅰの内容を発展させて、書道Ⅰではあまり扱うことができなかった書体や書風を中心に学習し、表現します。
古典や世界史、日本史と関連づけながら、書道史についても理解を深めましょう。

令和8年度 芸術科「表現音楽」シラバス

単位数	2単位	学科・学年・学級	普通科 2年次 1～7組
教科書	高校生の音楽1 (教育芸術社)	副教材等	<ul style="list-style-type: none"> ・目からウロコの楽典(ヤマハ) ・コールユーブンゲン(全音楽譜出版社) ・学生の楽典ドリル (k m p)

1 学習の到達目標

音楽表現に必要な基礎的な音楽理論について理解を深めるとともに、時代ごとの音楽の特徴について理解し、創造的に表現する能力を養う。

2 学習の計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等	
第1学期	4	専攻楽器の基礎基本を定着させ、知識を生かした表現を工夫しよう	専攻実技 ・エチュード	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的に楽曲の理解を深め、意欲的に表現する。 ・楽曲の構成要素を理解し表現する技術を身に付ける。 ・発声や奏法などを含め、個性豊かに表現する技能を身に付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・行動観察 ・学習プリント ・実技試験 	
	5	音楽の基礎基本を学び、音程やリズムがもたらす音楽表現を味わおう	ソルフェージュ ・コールユーブンゲン ・新曲視唱 ・聴音(旋律・リズム)	<ul style="list-style-type: none"> ・楽譜を読んでそれを音にイメージし、実際に歌唱する。 ・旋律や和声、リズムを聴いて楽譜を書くための技能を身に付ける。 		
	中間考査					
	6	音楽の基礎基本を学び、楽曲分析に生かそう	音楽通論 ・音の長さ、高さ ・記号 ・音程	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的な音楽理論について理解を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・行動観察 ・学習プリント ・実技試験 	
	7	自他の音楽に触れ、練習に生かそう	鑑賞 ・実技披露鑑賞会	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な楽器で演奏する音楽を鑑賞し、その特徴を捉える。 ・仲間の演奏課題を見つけ、練習の方法など具体的なアドバイスをする。 		
	期末考査					

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等	
第2学期	9	専攻楽器の基礎基本を定着させ、知識を生かした表現を工夫しよう	専攻実技 ・エチュード ・任意の曲	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的に楽曲の理解を深め、意欲的に表現する。 ・楽曲の構成要素を理解し表現する技術を身に付ける。 ・発声や奏法などを含め、個性豊かに表現する技能を身に付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・行動観察 ・学習プリント ・実技試験 	
	10	音楽の基礎基本を学び、音程やリズムがもたらす音楽表現を味わおう	ソルフェージュ ・コールユーブンゲン ・新曲視唱 ・聴音(旋律)	<ul style="list-style-type: none"> ・楽譜を読んでそれを音にイメージし、実際に歌唱する。 ・旋律や和声、リズムを聴いて楽譜を書くための技能を身に付ける。 		
	中間考査					
	11	音楽の基礎基本を学び、楽曲分析に生かそう	音楽通論 ・音階 ・関係調	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的な音楽理論について理解を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・行動観察 ・学習プリント ・実技試験 	
	12	自他の音楽に触れ、練習に生かそう	【鑑賞】 ・実技披露鑑賞会	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な楽器で演奏する音楽を鑑賞し、その特徴を捉える。 ・仲間の演奏課題を見つけ、練習の方法など具体的なアドバイスをする。 		
期末考査						

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第3学期	1	1年間で習得した知識と技能を生かして、お互いを尊重しながら演奏の工夫を	アンサンブル課題発表	<ul style="list-style-type: none"> ・曲の構成などを理解し表現を工夫する。 ・楽曲の雰囲気を感じ取って、表現を工夫する。 ・任意の楽曲に計画を立てて取り組み、表現の場とする。 ・豊かに表現できるように楽曲を理解する。 ・自ら進んで活動に取り組み、模範演奏等を参考にしながら良い演奏ができるように取り組む。 ・声や楽器の音色を工夫して演奏する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・行動観察 ・学習プリント ・実技試験
	2				
	3				

3 評価の観点

知識・技術	自己のイメージをもち、個性豊かに創造的な表現をするための技能を身に付けている。 楽曲の構成など、音楽の諸要素がどのような働きをしているか聴き取っている。
思考・判断・表現	感性を働かせて、音楽の諸要素を知覚し、音楽のよさや美しさを感じ取り、個性豊かに創造的な音楽活動の工夫をする。 音楽の諸要素を理解し、それらが音楽にどのような変化をもたらしているか感じ取っている。
主体的に学習に取り組む態度	音楽を愛好し、音楽文化に関心を持ち、個性豊かに意欲的、主体的に音楽活動を行い、その喜びを味わおうとする。 音楽文化に対する理解を深め、そのよさや美しさを主体的に味わう。

4 評価の方法

【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】の3観点から評価規準に従い、総合的に評価する。

5 担当者からのメッセージ (確かな学力を身に付けるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守ってほしい事項など)

- ・ 授業の諸活動に意欲を持って取り組み、より豊かな表現を心がけて取り組んでください。
- ・ 好みや苦手意識に捉われることなく、音楽の諸活動に取り組んでください。
- ・ 繰り返しの活動が音楽の力を高めます。より良い表現を目指して粘り強く取り組んでください。
- ・ 実技テストではお互いの演奏を鑑賞し、自らの表現のヒントにしてください。

令和8年度 外国語科「英語コミュニケーションⅡ」シラバス

単位数	5単位	学科・学年・学級	普通科・2年・1～7組
教科書	APPLAUSE ENGLISH COMMUNICATION II (開隆堂)	副教材等	APPLAUSE II ワークブック (開隆堂)、Evergreen 総合英語、英単語Tagert 1900 (旺文社)、Focus on Listening Pre Standard (エミル出版)、ActiveReader Intermediate (いっすな書店)、英文法・語法問題 GRAMMARMASTER (Z会)

1 学習の到達目標

英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする基礎的な能力を養う

2 学習の計画

第1学期学習指導計画

月	育成する資質能力 (CAN-DO記述)	学習項目 (教材名等)	学習内容や学習活動 (言語活動等)	評価 の 観点	領域					評価 項目 数	主な評価規準 (評価方法)
					聞	読	取	発	書		
4	簡単な情報文の内容や、簡潔な記述文の概要を、特に視覚的な補助があれば、ALTが話す概要を把握することができる	Lesson 1 ～ Lesson 2	・帯活動 (ウォーミングアップ) などを通して、聞く力の向上を目指す ・授業中のリスニングテスト	知	○	○	○	○	○	6	<ul style="list-style-type: none"> ・授業内の取り組み ・パフォーマンステスト ・授業内の小テスト ・提出物、課題
	2年生用の教科書の内容や、関連する記述の概要を初見で理解し、特定の情報を取り出すことができる (WPM100)		・文を読んで所見でおおまかに内容をとらえる練習をする ・与えられたキーワードを見ながら要約を口頭で伝え、それを書く ・授業中のボキャブラリーテスト	知	○	○	○	○	6		
直接必要なこと、もしくはごく身近な話題についての簡単なことを、自分から言ったり、相手の言ったことに反応したりできる	・グループワークで感想を口頭で伝え合う ・帯活動 (ウォームアップ) などを通して、表現力の向上を目指す ・与えられたトピックについてプレゼンテーションやスピーチを行う		知	○	○	○	○	6			
キーワードを見ながら、自分や友人、身の回りについての短いスピーチができる	・与えられたトピックについて感想やエッセイを書く ・授業中のライティングテスト		知	○	○	○	○	3			
中間 考査	中間考査			知	○	○	○	○	6	<ul style="list-style-type: none"> ・授業内容の理解度 ・初見問題の正答率 	
6	簡単な情報文の内容や、簡潔な記述文の概要を、特に視覚的な補助があれば、ALTが話す概要を把握することができる	Lesson 3 ～ Lesson 4	・帯活動 (ウォーミングアップ) などを通して、聞く力の向上を目指す ・授業中のリスニングテスト	知	○	○	○	○	6	<ul style="list-style-type: none"> ・授業内の取り組み ・パフォーマンステスト ・授業内の小テスト ・提出物、課題 	
	2年生用の教科書の内容や、関連する記述の概要を初見で理解し、特定の情報を取り出すことができる (WPM100)		・文を読んで所見でおおまかに内容をとらえる練習をする ・与えられたキーワードを見ながら要約を口頭で伝え、それを書く ・授業中のボキャブラリーテスト	知	○	○	○	○			6
直接必要なこと、もしくはごく身近な話題についての簡単なことを、自分から言ったり、相手の言ったことに反応したりできる	・グループワークで感想を口頭で伝え合う ・帯活動 (ウォームアップ) などを通して、表現力の向上を目指す ・与えられたトピックについてプレゼンテーションやスピーチを行う		知	○	○	○	○	6			
キーワードを見ながら、自分や友人、身の回りについての短いスピーチができる	・与えられたトピックについて感想やエッセイを書く ・授業中のライティングテスト		知	○	○	○	○	3			
期末 考査	期末考査			知	○	○	○	○	6	<ul style="list-style-type: none"> ・授業内容の理解度 ・初見問題の正答率 	

第2学期学習指導計画

月	育成する資質能力 (CAN-DO記述)	学習項目 (教材名等)	学習内容や学習活動 (言語活動等)	評価の 観点	領域					評価 項目 数	主な評価規準 (評価方法)
					聞	読	取	発	書		
9	初めて聞く教科書の内容を写真などの資料を参考にすれば、CD等を聞いて、その概要を50%程度理解することができる。	Lesson 5 ～ Lesson 6	・オーラル・イントロダクションや、クラスメイトのスピーチやプレゼンテーションを聞く ・授業中のリスニングテスト	知	○	○	○	○	○	6	・授業内の取り組み ・パフォーマンステスト ・授業内の小テスト ・提出物、課題
	・文を読んで所見でおおまかに内容をとらえる練習をする ・キーワードを見ながら要約を口頭で伝え、それを書く ・授業中のボキャブラリーテスト		知	○	○	○	○	6			
	・グループワークで感想を口頭で伝え合う ・帯活動（ウォームアップ）などを通して、表現力の向上を目指す ・与えられたトピックについてプレゼンテーションやスピーチを行う		知	○	○	○	○	6			
10	教科書の内容について、自分の考え、意見、感想などを述べ合うことができる。	Lesson 6	・与えられたトピックについて感想やエッセイを書く。 ・授業中のライティングテスト	知	○	○	○	○	3		
	教科書の内容について、一部パラフレーズしながら、概要を書いたり、辞書を使いながら感想を書いたりすることができる。		知	○	○	○	○	3			
中間 考査	中間考査			知	○	○	○	○	6	・授業内容の理解度 ・初見問題の正答率	
				思	○	○	○	○			
				態	○	○	○	○			
11	初めて聞く教科書の内容を写真などの資料を参考にすれば、CD等を聞いて、その概要を50%程度理解することができる。	Lesson 7 ～ Lesson 8	・オーラル・イントロダクションや、クラスメイトのスピーチやプレゼンテーションを聞く ・授業中のリスニングテスト	知	○	○	○	○	6	・授業内の取り組み ・パフォーマンステスト ・授業内の小テスト ・提出物、課題	
	・文を読んで所見でおおまかに内容をとらえる練習をする ・キーワードを見ながら要約を口頭で伝え、それを書く ・授業中のボキャブラリーテスト		知	○	○	○	○	6			
	・グループワークで感想を口頭で伝え合う ・帯活動（ウォームアップ）などを通して、表現力の向上を目指す ・与えられたトピックについてプレゼンテーションやスピーチを行う		知	○	○	○	○	6			
12	教科書の内容について、自分の考え、意見、感想などを述べ合うことができる。	Lesson 8	・与えられたトピックについて感想やエッセイを書く。 ・授業中のライティングテスト	知	○	○	○	○	3		
	教科書の内容について、一部パラフレーズしながら、概要を書いたり、辞書を使いながら感想を書いたりすることができる。		知	○	○	○	○	3			
期末 考査	期末考査			知	○	○	○	○	6	・授業内容の理解度 ・初見問題の正答率	
				思	○	○	○	○			
				態	○	○	○	○			

第3学期学習指導計画

月	育成する資質能力 (CAN-DO記述)	学習項目 (教材名等)	学習内容や学習活動 (言語活動等)	評価の 観点	領域					評価 項目 数	主な評価規準 (評価方法)
					聞	読	取	発	書		
1	初めて聞く教科書の内容を写真などの資料を参考にすれば、CD等を聞いて、その概要を50%程度理解することができる。	Lesson 9 ～ Lesson 10	・オーラル・イントロダクションや、クラスメイトのスピーチやプレゼンテーションを聞く ・授業中のリスニングテスト	知	○	○	○	○	6	・授業内の取り組み ・パフォーマンステスト ・授業内の小テスト ・提出物、課題	
	・文を読んで所見でおおまかに内容をとらえる練習をする ・キーワードを見ながら要約を口頭で伝え、それを書く ・授業中のボキャブラリーテスト		知	○	○	○	○	6			
	・グループワークで感想やサマリーを口頭で伝え合う		知	○	○	○	○	3			
2	教科書の内容について、自分の考え、意見、感想などを述べ合うことができる。	Lesson 10	・与えられたトピックについてプレゼンテーションやスピーチを行う	知	○	○	○	○	3		
	教科書の内容について、キーワードを見ながら、概略を伝えることができる。		知	○	○	○	○	3			
3	教科書の内容について、自分の考え、意見、感想などを述べ合うことができる。	Lesson 10	・与えられたトピックについて感想やエッセイを書く。 ・授業中のライティングテスト	知	○	○	○	○	3		
	教科書の内容について、一部パラフレーズしながら、概要を書いたり、辞書を使いながら感想を書いたりすることができる。		知	○	○	○	○	3			
学年 末考査	学年末考査			知	○	○	○	○	6	・授業内容の理解度 ・初見問題の正答率	
				思	○	○	○	○			
				態	○	○	○	○			

評価の観点	聞くこと	読むこと	話すこと (やり取り)	話すこと (発表)	書くこと
知識・技能	英語の特徴やきまりに関する事項を理解し、コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的话题や社会的な話題について話された文等を聞いて、その内容を捉える技能を身に付けている。	英語の特徴やきまりに関する事項を理解し、コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的话题や社会的な話題について書かれた文等を読んで、その内容を捉える技能を身に付けている。	英語の特徴やきまりに関する事項を理解し、コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的话题や社会的な話題について、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して伝え合う技能を身に付けている。	英語の特徴やきまりに関する事項を理解し、コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的话题や社会的な話題などについて、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して話して伝える技能を身に付けている。	英語の特徴やきまりに関する事項を理解し、コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的话题や社会的な話題などについて、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して書いて伝える技能を身に付けている。
思考・判断・表現	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的话题や社会的な話題について、必要な情報を聞き取り、話し手の意図や概要、要点を捉えている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的话题や社会的な話題について、必要な情報を読み取り、書き手の意図や概要、要点を捉えている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的话题や社会的な話題について、情報や考え、気持ちなどを、話して伝え合うやり取りを続けたり、論理性に注意して話し手伝え合ったりしている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的话题や社会的な話題について、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して話して伝えている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的话题や社会的な話題などについて、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して書いて伝えている。
主体的に学習に取り組む態度	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、話し手に配慮しながら、主体的、自律的に英語で話されることを聞こうとしている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語で書かれたことを読もうとしている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、話し手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いて伝え合おうとしている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いて話そうとしている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、読み手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いて書こうとしている。

評価の方法	知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度の3観点から評価規準に従い、総合的に評価する。
-------	---

担当者からのメッセージ (確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 和訳はしません。英語を英語のまま理解する練習をしましょう。 2. 文法はコミュニケーションを支えるために必要です。どういう場面で用いるのかを意識して練習しましょう。 3. 授業には必ず辞書を持ってきましょう。わからない語句は自分で調べ、語彙を増やす努力をしましょう。 4. 音読はできるだけたくさんしましょう。授業でできる時間は限られています。家庭で毎日練習しましょう。 5. コミュニケーションを円滑に進めるためには、自分の思いや意見を相手に伝えることが必要です。まずは自分の意見を持ち、相手を理解する姿勢で臨みましょう。
--	---

令和8年度 外国語科「論理表現α」シラバス

単位数	2単位	学科・学年・学級	普通科・2年次・選択者
教科書	APPLAUSE ENGLISH COMMUNICATION II (開隆堂)	副教材等	CNN Workbook Intensive Course(朝日出版) Grammar Master(Z会)

1 学習の到達目標

・日常的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話したり、書いたりして伝えることができる。
 ・日常的な話題や社会的な話題について、使用する語句や文、対話の展開、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、基本的な語句や文を用いて、意見や主張などを論理の校正や展開を工夫して話したり、書いたりして伝えることができる。

2 学習の計画

第1学期学習指導計画

月	育成する資質能力 (CAN-DO記述)	学習項目 (教材名等)	学習内容や学習活動 (言語活動等)	評価の観点	領域					評価項目数	主な評価規準 (評価方法)
					聞	読	取	発	書		
4	紹介や基本的な挨拶の表現を使うことができる。人に物事を要求したり、人からの要求に答えることができる。	Lesson 1 ～ Lesson 3	聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて話し合ったり意見交換したりする。	知 思 態	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	9	・授業内の取り組み ・パフォーマンステスト ・課題	
5	50語程度の自己紹介を書くことができる。書面で個人的な具体的情報を求めたり、伝えたりすることができる。	Lesson 1 ～ Lesson 3	聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて簡潔に書く。	知 思 態	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	12	・授業内の取り組み ・パフォーマンステスト ・課題	
6	人物や場所について、単純な語句を並べて、述べるができる。	Lesson 4 ～ Lesson 5	聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて話し合ったり意見交換したりする。	知 思 態	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	9	・授業内の取り組み ・パフォーマンステスト ・課題	
7	教科書の内容について、自分の意見や感想を書き表すことができる。	Lesson 4 ～ Lesson 5	聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて簡潔に書く。	知 思 態	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	12	・授業内の取り組み ・パフォーマンステスト ・課題	

第2学期学習指導計画

月	育成する資質能力 (CAN-DO記述)	学習項目 (教材名等)	学習内容や学習活動 (言語活動等)	評価の観点	領域					評価項目数	主な評価規準 (評価方法)
					聞	読	取	発	書		
9	キーワードを見ながら、自分や友人、身の回りについての短いスピーチができる。	Lesson 6 ～ Lesson 7	聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて話し合ったり意見交換したりする。	知 思 態	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	9	・授業内の取り組み ・パフォーマンステスト ・課題	
10	教科書の内容について、主題文を抜き出して、概要を書き表すことができる。	Lesson 6 ～ Lesson 7	聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて簡潔に書く。	知 思 態	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	12	・授業内の取り組み ・パフォーマンステスト ・課題	
11	簡単な表現や決まり文句を使って、何かに誘ったり、会う日時や場所を決めたりすることができる。	Lesson 8 ～ Lesson 9	聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて話し合ったり意見交換したりする。	知 思 態	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	9	・授業内の取り組み ・パフォーマンステスト ・課題	
12	教科書の内容について、自分の考え、意見、感想などを述べ合うことができる。	Lesson 8 ～ Lesson 9	聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて簡潔に書く。	知 思 態	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	12	・授業内の取り組み ・パフォーマンステスト ・課題	

第3学期学習指導計画

月	育成する資質能力 (CAN-DO記述)	学習項目 (教材名等)	学習内容や学習活動 (言語活動等)	評価の観点	領域					評価項目数	主な評価規準 (評価方法)
					聞	読	取	発	書		
1	外国の人に、日本や学校、家族などに関する基本的なことを、即興で伝えることができる。	Lesson 10 ～ Lesson 11	聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて話し合ったり意見交換したりする。	知 思 態	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	9	・授業内の取り組み ・パフォーマンステスト ・課題	
2	教科書の内容について、自分の考え、意見、感想などを述べ合うことができる。	Lesson 10 ～ Lesson 11	聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて簡潔に書く。	知 思 態	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	12	・授業内の取り組み ・パフォーマンステスト ・課題	

評価の観点	聞くこと	読むこと	話すこと (やり取り)	話すこと (発表)	書くこと
知識・技能			英語の特徴やきまりに関する事項を理解し、コミュニケーションを行う場面、状況などに応じて、日常的话题や社会的な話題について、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して伝えあう技能を身につけている。	英語の特徴やきまりに関する事項を理解し、コミュニケーションを行う場面、状況などに応じて、日常的话题や社会的な話題について、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して伝える技能を身につけている。	英語の特徴やきまりに関する事項を理解し、コミュニケーションを行う場面、状況などに応じて、日常的话题や社会的な話題について、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して書いて伝える技能を身につけている。
思考・判断・表現			コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的话题や社会的な話題について、情報や考え、気持ちなどを、話して伝え合うやり取りを続けたり、論理性に注意して話したり伝え合ったりしている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的话题や社会的な話題について、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して話して伝えている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的话题や社会的な話題について、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して書いて伝えている。
主体的に学習に取り組む態度			外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、話し手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いて伝え合おうとしている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いて話そうとしている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、読み手に配慮する理解を深め、読み手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いて書こうとしている。

評価の方法	知識・技能、思考・判断・表現、主体的に取り組む態度の3観点から評価規準に従い、総合的に評価する。
-------	--

担当者からのメッセージ (確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など)	<ol style="list-style-type: none"> 1 課題は提出するためではなく、自分の力をつけるために取り組んでください。授業でわからないことを開けるよう準備してきましょう。 2 英語は技能教科です。英語の勉強ではなく、練習をしましょう。読む練習・聞く練習・話す練習・書く練習。全て英語で会話をし、英語で授業を行います。積極的にALTと話しましょう。 3 持ち物：教科書、CNN book、辞書、タブレット、筆記用具、ノート 毎時間持参してください。 4 定期考査はありません。小テストやパフォーマンステスト(スピーキング、ライティング、リスニング)がとても重要になってくるので真剣に取り組むこと。 5 自分の意見をしっかりと持ちましょう。論理的で明確な話し方、書き方を学びます。
--	--

単位数	2単位	学科・学年・学級	普通科・2年・1～7組 国際人文科・2年・8組
教科書	新図説家庭基礎（実教出版）	副教材等	なし

1 学習の到達目標

人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身につけるようにする。
 家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構築し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。
 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

2 学習の計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4	1章 自分らしい生き方と家族	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯発達する人生 ・青年期を生きる ・生活を支える労働 ・現代の家族 ・家族家庭を取り巻く社会環境の変化や課題 ・家族にかかわる法律 	ライフステージごとの発達課題やライフイベントについて理解し、これからの家庭生活や社会のあり方、人生設計について考えを深めます。家族の意義について考え、さまざまな家族・家庭があることを理解し、人の一生と家族のかかわりについて考えます。	行動観察 授業プリント 行動観察 授業プリント 実習レポート 期末考査
	5				
	6	5章 食生活をつくる	<ul style="list-style-type: none"> ・私たちの食生活と健康 ・五大栄養素 ・食品の選択と表示 ・食品の衛生 ・食料自給率と食のグローバル化 ・食の未来と環境への取り組み ・栄養バランスを考える ・調理の基本 ＊糖度実験 期末考査	栄養・食品の知識、調理に関する基礎的な知識と技術を身に付けます。 栄養素の種類と働きやそれぞれの栄養素が多く含まれる食品についての基礎的な知識を学習します。 食品の選択、食品の表示と保存について学習します。 自分の食生活の実態、現代の食生活を取り巻く環境について学習します。	
7					
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第2学期	9	3章 高齢者とかかわる	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢社会に生きる ・高齢者を知る ・高齢社会を支えるしくみ ＊高齢者疑似体験 ・社会保障制度（公助） ・社会の一員としての私たちの役割（互助・共助） 	高齢社会の現状と課題を理解し、高齢者の心身の特徴や介護の必要性について学びます。介護保険制度やサービス等の内容を知り、家庭生活を支える社会福祉の重要性を学びます。	行動観察 授業プリント 行動観察 授業プリント 提出物 行動観察 授業プリント 実習レポート レポート 期末考査
	10	4章 社会とかかわる			
	10	7章 住生活をつくる	<ul style="list-style-type: none"> ・人と住まいのかかわり ・平面計画からみた住空間 ・ライフステージと住まいの計画 ・健康、安全な住まい ・持続可能な住まい ＊平面計画 	気候風土や生活機能に応じた住空間の構成について学びます。 ライフスタイルと住まいのかかわりについて考え、住まいの安全・衛生・管理について学びます。	
	11	6章 衣生活をつくる	<ul style="list-style-type: none"> ・人と衣服のかかわり ・健康で安全な衣服 ・衣服素材の種類と特徴 ・衣服素材の性能と改善 ・衣生活の計画と購入 ・衣服の管理 ・家庭での洗濯・保管 ・持続可能な衣生活をつくる ＊洗濯実験 	衣服素材の種類、繊維の種類と特徴、衣服素材の性能について理解し、用途に応じた素材の選択ができるようになります。 衣服の購入・洗濯・保管などについて理解し、資源・環境にも配慮した衣生活について学習します。	
12	ホームプロジェクト		自分や身の回りの生活課題を見つけ、どのように改善することができるか考えを深めます。		

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第3学期	1	2章 子どもとかかわる	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの誕生 ・子どもの体と心の発達 ・子どもの生活習慣と健康 ・子育て支援、制度 ＊子どものおもちゃ製作 	<p>子どもの特徴や発達過程を学び、男女で子育てにかかわる重要性を理解するとともに子どもを育てる責任についても考えます。</p> <p>子育てにかかわる社会的サポートの必要性と現状、今後の課題について考えます。</p>	<p>行動観察 授業プリント 実習レポート 作品提出</p>
	2	8章 消費行動を考える	<ul style="list-style-type: none"> ・契約と主体的な消費行動 ・多様化する支払い方法と販売方法と問題商法 	<p>家庭の収入や支出の構造を理解し、経済生活の設計と管理について学びます。</p> <p>消費行動において重要である契約の意味をはじめ、多様な販売方法や支払い方法、若者が狙われやすい悪徳商法の対策方法について学びます。</p>	
	3	9章 経済的に自立する	<ul style="list-style-type: none"> ・消費者を守る制度、法律 ・消費者の権利と責任 ・持続可能な社会の構築 ・収入と支出を把握する ・社会と家計の変化 ・人生設計とリスク管理 ＊ライフプランシート作成 	<p>ライフイベントに必要なお金について知り、生活設計について考え、リスクに対して準備をしていく必要性について学びます。</p>	<p>学年末考査</p>

3 評価の観点

知識・技能	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けている。
思考・判断・表現	家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を身に付けている。
主体的に学習に取り組む態度	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を身に付けている。

4 評価の方法

<p>知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度の3観点から総合的に評価する。</p> <p>定期考査、授業中に使ったプリント、学習ノート、実習作品、提出物の内容及び学習活動への参加の仕方や態度をもとに、総合的に評価する。</p>
--

5 担当者からのメッセージ (確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など)

<p>休まずに授業に参加することはもちろん、提出物は期限内に完成させて提出すること。</p> <p>実習中は怪我をしないよう注意を払い、真剣且つ慎重に取り組むこと。</p> <p>家庭科では、生活者として自分はどう行動すべきかといった意志決定について授業を通して学んでいきます。</p> <p>授業中は集中して取り組むこと。作品や提出物が授業内に終わらなければ、昼休みや放課後に取り組んでもらいます。</p> <p>考査は1学期末、2学期末、学年末の3回です。</p>
--

令和8年度 言語活用科「言語活用α」シラバス

単位数	2 単位	学科・学年・学級	普通科 2年1～7組選択者
教科書	高等学校新地理総合（帝国書院） 公共（数研出版）	副教材等	教科担当者作成プリント

1 学習の到達目標

言語活動を通じて、自ら課題を発見し解決する力、コミュニケーション能力、物事を多様な観点から考察する力、様々な情報を取捨選択できる力を養い、社会生活において円滑に活用できるようにする。

2 学習の計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4	社会人としての在り方、人間としての生き方について関心を持つ	・「表現」を通して自己を見つめよう。	以下の学習活動を通して、正確に読み、論理的に考え、的確に表現する練習を繰り返し、思考を整理する型を身につける。 ・問答ゲーム ・感想を述べる ・正しい表現、適切な表現の練習 ・「新書」を読む	・授業内考査 ・小テスト ・行動の観察（ルーブリック評価） ・発表、課題レポートの確認
	5				
	6	社会的事象に対して自己の考えを持つ	・社会の出来事を様々な視点で見つめ、考え、意見交換しよう。	「表現の型」を身につける練習を繰り返して身につける。 ・新しいニュースを知る ・意見を述べる ・「考え方」の練習 ・「問題点」を見つける ・「反論」してみる	・授業内考査 ・小テスト ・行動の観察（ルーブリック評価） ・発表、課題レポートの確認
	7				
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第2学期	9	現代を取り巻く環境を自分の言葉で把握する	・現代社会を広い視野から考察してテーマを決め、ディベートする準備をしよう。	以下の学習活動を通して、班単位でディベートの準備をする。 ・ディベートのテーマ探し ・発表内容を決める ・評論文を読み、要約する ・討論の仕方、注意事項の理解 ・資料を集め、分析する練習 ・賛成、反対の理由探し練習	・授業内考査 ・小テスト ・行動の観察（ルーブリック評価） ・発表、課題レポートの確認
	10				

第2学期	11	社会の課題の共有と、そのために必要な事項を理解する	<ul style="list-style-type: none"> ・意見を述べ、聞き、質問し、常に主体的であるよう練習しよう。 	<p>ディベートを行う中で、以下について意識づけられるよう 反復練習する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・説得力ある発表の仕方 ・聞かせる技術、話させる技術 ・話を聞き、要約する技術 ・効率よい共同作業のあり方 ・相互評価のあり方 ・個人の新たな研究課題の発見 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業内考査 ・小テスト ・行動の観察 (ルーブリック評価) ・発表、課題レポートの確認
	12				
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第3学期	1	総合演習	<ul style="list-style-type: none"> ・1年間の学習内容を復習し、主体的に学習する意欲を向上させよう。 	<p>テーマを設定してプレゼンテーションの形式で発表する活動を通して、以下の点を意識し、自力による課題の発見・解決が可能になるよう学習する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の関心あるテーマの設定 ・プレゼンテーションの組み立て ・調査方針の立て方 ・情報の扱い方 ・プレゼンテーション演習 ・相互評価の姿勢 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業内考査 ・小テスト ・行動の観察 (ルーブリック評価) ・発表、課題レポートの確認
	2				
	3				

3 評価の観点

知識・技能	言語活動を通じて、コミュニケーション能力、物事を多様な観点から考察する力、様々な情報を取捨選択できる力を身に付ける。
思考・判断・表現	コミュニケーション能力、物事を多様な観点から考察する力、様々な情報を取捨選択できる力を社会生活において円滑に活用できるようにする。
主体的に学習に取り組む態度	言語活動を通じて、自ら課題を発見し解決する力を身に付けようとする態度を育成する。

4 評価の方法

「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の3観点から総合的に評価する。

5 担当者からのメッセージ (確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など)

まずは与えられた課題を一つ一つ丁寧に仕上げるのが大事です。提出すべきものは期限・方法を守って提出しましょう。苦手なこともあるでしょうが、そうした取り組みから実力は養成されます。成績評価のためだけでなく、自らの人間力を高めるのだという向上心を持って授業に臨んでください。

単位数	3単位	学科・学年・学級	普通科 2年5組 選択
教科書	教科につなげる日本語 応用編 (スリーエーネットワーク)	副教材等	新完全マスター文法 日本語能力試験N1 (スリーエーネットワーク)

1 学習の到達目標

文化的・社会的な話題について、自分の感想や考えが理由とともに説明できる。
異なる視点や考え方を持つ相手とも、興味・関心を持って情報や意見の交換ができる。

2 学習の計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等	
第1学期	4	1 情報社会	・情報社会の長所と短所について考える	・漢字・文法・ゲームなどの帯活動 ・漢字テスト・文法テスト ・文を読んで所見で大まかに内容をとらえる ・精読をし、内容質問に答える ・キーワードを見ながら要約を口頭で伝える ・要約文を書く	小テスト 授業内観察	
	5	2 日本の歴史	・日本の歴史の基本的な用語・概要を学ぶ	・ディベート、発表、スピーチ、作文などのアウトプット活動	発表・作文	
			中間考査	考査（聴解・読解・文字・語彙・文法・作文）	中間考査	
	6	3 小泉八雲	・インタビューの形式、敬語表現を学ぶ	・漢字・文法・ゲームなどの帯活動 ・漢字テスト・文法テスト ・文を読んで所見で大まかに内容をとらえる ・精読をし、内容質問に答える	小テスト 授業内観察	
		4	短歌と俳句	・和歌の歴史、短歌や俳句の知識を学ぶ	・キーワードを見ながら要約を口頭で伝える ・要約文を書く ・インタビュー、発表、スピーチ、作文などのアウトプット活動	発表・作文
	7	5 地震	・地震の仕組み、防災対策について学ぶ	考査（聴解・読解・文字・語彙・文法・作文）	期末考査	
			期末考査			
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等	
第2学期	9	6 ノーベル賞	・ノーベル賞の歴史や受賞者について学ぶ	・漢字・文法・ゲームなどの帯活動 ・漢字テスト・文法テスト ・文を読んで所見で大まかに内容をとらえる ・精読をし、内容質問に答える	小テスト 授業内観察	
		7 体と健康	・人間の体の仕組みや健康について学ぶ	・キーワードを見ながら要約を口頭で伝える ・要約文を書く ・アンケート、発表、スピーチ、作文などのアウトプット活動	発表・作文	
	10					

第2学期			中間考査	考査（聴解・読解・文字・語彙・文法・作文）	中間考査
	11	8 ボランティア活動	・世界のボランティア活動について学ぶ	・漢字・文法・ゲームなどの帯活動 ・漢字テスト・文法テスト	小テスト
		9 リサイクル	・ごみ処理や4Rの取り組みから環境について学ぶ	・文を読んで所見で大まかに内容をとらえる ・精読をし、内容質問に答える	授業内観察
	12	10 故事成語	・故事成語について学び理解を深める	・キーワードを見ながら要約を口頭で伝える ・要約文を書く	発表・作文
			期末考査	考査（聴解・読解・文字・語彙・文法・作文）	期末考査
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第3学期	1	11 音楽の歴史と作曲家	・音楽とその時代背景に対する理解を深める	・漢字・文法・ゲームなどの帯活動 ・漢字テスト・文法テスト	小テスト
		12 人権と裁判	・人権や三権分立、裁判の仕組みについて学ぶ	・文を読んで所見で大まかに内容をとらえる ・精読をし、内容質問に答える	授業内観察
	2			・キーワードを見ながら要約を口頭で伝える ・要約文を書く	発表・作文
		3			・インタビュー、発表、スピーチ、作文などのアウトプット活動
			学年末考査	考査（聴解・読解・文字・語彙・文法・作文）	学年末考査

3 評価の観点

知識・技能	学習した語彙・文型や文化的な内容を理解し、積極的に使おうとしているか。
思考・判断・表現	聞いたり読んだりしたことの内容を理解し、自分の考えを適切な表現で伝えることができるか。
主体的に学習に取り組む態度	毎回の小テストに前向きに取り組む努力を続けているか。積極的に日本語を使ってコミュニケーションをとろうとしているか。

4 評価の方法

授業内観察（積極的に取り組んでいるか）、課題等提出物、作文、発表、毎回の漢字小テスト・文法テスト、定期考査5回を基に、3観点から評価基準に従い総合的に評価する。
--

5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身に付けるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守ってほしい事項など）

毎日復習を行い、提出物は期限厳守で提出してください。 授業で使う日本語に慣れ、使えるようになることを目標にして、積極的に勉強してください。
--